

○ 令和5年度 市民意見の聴取等の今後の流れ（案）

令和5年4月11日 局長

区 分	内 容
令和4年度	3月 市民意見の聴取の準備 ・アンケート調査票の作成
令和5年度	4月6日 無作為抽出（5,000人）
	4月9日 市会議員選挙
	↓
	議員説明
	バリアフリー検討会議の委員へ説明
	市民意見の聴取 ・4月19日 市民アンケート等送付 ・5月中旬 市民アンケート集計・分析 ・6月3日 市民討論会（市長出席）
	↓
	6月上旬 バリアフリー検討会議 ・市民意見の聴取の結果の報告及び意見交換
	↓
	6月上旬 市長からの指示・方針決定
	6月上旬 所管事務調査 ・バリアフリーを含めた整備基本計画について
	↓
	全体整備検討会議
	市民等への説明
	↓
	文化庁へ提出

名古屋城バリアフリーに関する市民討論会の流れ

時間	イベント	内 容	備 考
10:00	開場入り、設営開始		
11:30	本番前打合せ		
13:00	開場	(階段体験館 PR アナウンス)	
14:00	開会	趣旨説明、本日の流れ(5分) (質問票の趣旨についてよく説明)	階段体験館 VR 体験
14:05	市長開会挨拶	(2分) (最後に討論会で市民意見を直接聞きたいとの内容)	
14:07	講演	テーマ:未定(30分) (木造天守の意義など)	
14:37	名古屋城のバリアフリーに関する説明	名古屋城木造天守復元事業(30分) (木造天守復元の意義(バリアフリー含む))	
15:07	有識者(3～4人:パネラー)からの解説	バリアフリーに関する説明等について (15分)	公募の解説や バリアフリー技術の 補足など
15:22	休憩	(15分)	
15:37	討論会	アンケートに記載されたバリアフリーに関する自由意見を披露 参加者挙手、司会が指名(30分)	まとめをしない 意見を聞くのみ
16:07	市長閉会挨拶	(3分) (意見ありがとう、皆さんの意見を参考に考えたいとの内容)	
16:10	閉会		
16:15	市長囲み取材対応	(本日は結論を出さない旨を念押し)	
16:30	撤収作業		
	6/6(予定) バリアフリー会議	有識者から意見を聞く(結論ださない) 当日夕に市長へ意見伝達	
	6/7(予定) 市長方針	名古屋城総合事務所に対する指示書受領	記者投げは未定

○6月3日（土）市民討論会有識者等出席予定者一覧

・有識者一覧（50音順、敬称略）

専門分野	所属	氏名
建築 バリアフリー	一般社団法人バリアフリー総合研究所 UDラボ 東海 代表理事	阿部 一雄
考古学	奈良大学教授	<u>千田</u> 嘉博
建築史 文化財保存修理	名古屋工業大学名誉教授	<u>麓</u> 和善
環境工学	愛知産業大学元学長	堀越 哲美

下線のある有識者は出席未調整

・市長 河村 たかし

・武将隊（今後調整必要）

なつ

名古屋城バリアフリーに関する市民討論会【6/3(土)】の流れ

時間	イベント	内 容	備 考
10:00	開場入り、設営開始		
11:30	本番前打合せ		
13:00	開場	(階段体験館 PR アナウンス)	
14:00	開会	(5分) 趣旨説明、本日の流れ	階段体験館 VR体験
14:05	市長開会挨拶	(2分) (最後に討論会で市民意見を直接聞きたいとの内容)	
14:07	講演	テーマ:未定(30分) (木造天守の意義など)	
14:37	名古屋城のバリアフリーに関する説明	名古屋城木造天守復元事業(30分) (木造天守復元の意義(バリアフリー含む))	
15:07	有識者(3～4人:パネラー)からの解説	バリアフリーに関する説明等について (15分)	公募の解説や バリアフリー技術の 補足など
15:22	休憩	(15分)	
15:37	討論会	冒頭にアンケートの中間報告 アンケートに記載されたバリアフリーに関する自由意見を披露 参加者挙手、司会が指名(30分)	まとめをしない 意見を聞くのみ
16:07	市長閉会挨拶	(3分) (意見ありがとう、皆さんの意見を参考に考えたいとの内容)	
16:10	閉会		
16:15	市長囲み取材対応	(本日は結論を出さない旨を念押し)	
16:30	撤収作業		
	6/6(火)(予定) バリアフリー検討会議	有識者から意見を聞く(結論ださない) 当日夕に市長へ意見伝達	
	6/7(水)(予定) 市長方針	名古屋城総合事務所に対する指示書受領	記者投げは未定

○6月3日（土）市民討論会有識者等出席予定者一覧

・有識者一覧（敬称略）

専門分野	所属	氏名
環境工学	愛知産業大学元学長	堀越 哲美
建築史 文化財保存修理	名古屋工業大学名誉教授	<u>麓 和善</u>
建築 バリアフリー	一般社団法人バリアフリー総合研究所 UDラボ 東海 代表理事	阿部 一雄
(考古学)	(奈良大学教授)	<u>(千田 嘉博)</u>

下線のある有識者は出席未調整

・市長 河村 たかし

・武将隊（今後調整必要）

なつ

名古屋城バリアフリーに関する市民討論会の流れ

開催日：令和5年6月3日（土）

会 場：中区役所ホール

時間	イベント	内 容
13:00	開場	
14:00	開会	趣旨説明、本日の流れ(5分)
14:05	市長開会挨拶	(2分)
14:07	講演	テーマ:「木造天守の意義など」を予定(30分)
14:37	名古屋城のバリアフリーに関する説明	木造天守復元の概要(バリアフリー含む)(30分)
15:07	有識者(3名:パネラー)からの解説	バリアフリーに関する説明等について(15分)
15:22	休憩	(15分)
15:37	討論会	冒頭にアンケートの中間報告、参加者挙手、司会が指名(30分)
16:07	市長閉会挨拶	(3分)
16:10	閉会	
16:15	市長囲み取材対応	
16:30	撤収作業	
	6/6(火)(調整中) バリアフリー検討会議	有識者から意見を聞く 当日夕に市長へ意見伝達
	↓	↓
	6/6(火)(予定) 市長方針	名古屋城総合事務所に対する指示書受領

○6月3日（土）市民討論会有識者等出席予定者一覧

・有識者一覧（敬称略）

専門分野	所属	氏名
環境工学	愛知産業大学元学長	堀越 哲美
建築史 文化財保存修理	名古屋工業大学名誉教授	麓 和善
建築 バリアフリー	一般社団法人バリアフリー総合研究所 UDラボ 東海 代表理事	阿部 一雄

・市長 河村 たかし

・武将隊（調整中）

なつ

名古屋城バリアフリーに関する市民討論会の流れ

開催日：令和5年6月3日（土）

会 場：中区役所ホール

時間	イベント	内 容
13:00	開場	
14:00	開会	趣旨説明、本日の流れ(5分)
14:05	市長開会挨拶	(2分)
14:07	講演	テーマ:「木造天守の意義など」を予定(30分)
14:37	名古屋城のバリアフリーに関する説明	木造天守復元の概要(バリアフリー含む)(30分)
15:07	有識者(3名:パネラー)からの解説	バリアフリーに関する説明等について(15分)
15:22	休憩	(15分)
15:37	討論会	冒頭にアンケートの中間報告、参加者挙手、司会が指名(30分)
16:07	市長閉会挨拶	(3分)
16:10	閉会	
16:15	市長囲み取材対応	
16:30	撤収作業	
	6/6(火)(調整中) バリアフリー検討会議	有識者から意見を聞く 当日夕に市長へ意見伝達
	↓	↓
	6/6(火)(予定) 市長方針	名古屋城総合事務所に対する指示書受領

○6月3日（土）市民討論会有識者等出席予定者一覧

・有識者一覧（敬称略）

専門分野	所属	氏名
環境工学	愛知産業大学元学長	堀越 哲美
建築史 文化財保存修理	名古屋工業大学名誉教授	麓 和善
建築 バリアフリー	一般社団法人バリアフリー総合研究所 UDラボ 東海 代表理事	阿部 一雄

・市長 河村 たかし

・武将隊（調整中）

なつ

名古屋城バリアフリーに関する市民討論会の流れ

開催日：令和5年6月3日（土）

会 場：中区役所ホール

時間	イベント	内 容
13:00	開場	
14:00	開会	趣旨説明、本日の流れ(5分)
14:05	市長開会挨拶	(2分)
14:07	講演	テーマ:「木造天守の意義など」を予定(30分)
14:37	名古屋城のバリアフリーに関する説明	木造天守復元の概要(バリアフリー含む)(30分)
15:07	有識者(3名:パネラー)からの解説	バリアフリーに関する説明等について(15分)
15:22	休憩	(15分)
15:37	討論会	冒頭にアンケートの中間報告、参加者挙手、司会が指名(30分)
16:07	市長閉会挨拶	(3分)
16:10	閉会	
16:15	市長囲み取材対応	
16:30	撤収作業	
	6/6(火)(調整中) バリアフリー検討会議	有識者から意見を聞く 当日夕に市長へ意見伝達
	↓	↓
	6/6(火)(予定) 市長方針	名古屋城総合事務所に対する指示書受領

○6月3日（土）市民討論会有識者等出席予定者一覧

・有識者一覧（敬称略）

専門分野	所属	氏名
環境工学	愛知産業大学元学長	堀越 哲美
建築史 文化財保存修理	名古屋工業大学名誉教授	麓 和善
建築 バリアフリー	一般社団法人バリアフリー総合研究所 UDラボ 東海 代表理事	阿部 一雄

・市長 河村 たかし

・武将隊（調整中）

なつ

名古屋城バリアフリーに関する市民討論会の流れ

開催日：令和5年6月3日（土）

会 場：中区役所ホール

時間	イベント	内 容
13:00	開場	
14:00	開会	趣旨説明、本日の流れ(3分)
14:03	市長開会挨拶	(2分)
14:05	講演	テーマ:「木造天守の意義など」を予定(30分)
14:35	名古屋城のバリアフリーに関する説明	木造天守復元の概要(バリアフリー含む)(30分)
15:05	休憩	(15分)
15:20	有識者(3名:パネラー)からの解説	バリアフリーに関する説明等について(15分)
15:35	討論会	冒頭にアンケートの中間報告、参加者挙手、司会が指名(30分)
16:05	市長閉会挨拶	(2分)
16:07	閉会	
16:15	市長囲み取材対応	
16:30	撤収作業	
	6/5(月)14:00～ バリアフリー検討会議	有識者から意見を聞く 当日夕に市長へ意見伝達
	↓	↓
	6/6(火)(予定) 市長方針	名古屋城総合事務所に対する指示書受領

市民アンケートの返信及び市民討論会参加申込状況（5/9 現在）

	市民アンケート返信 件 (%)			市民討論会参加申込者 名 (%)
	全体	うち		
		子育て 世帯	障害者	
未設置	288 (23.7)	31 (23.5)	7 (12.3)	13 (29.6)
1 階	193 (15.9)	23 (17.4)	4 (7)	7 (15.9)
5 階	578 (47.7)	70 (53.0)	39 (68.4)	18 (40.9)
わからない	105 (8.7)	8 (6.1)	7 (12.3)	2 (4.5)
その他	26 (2.1)	※	※	3 (6.8)
不明	23 (1.9)	※	※	1 (2.3)
合計	1213	132	57	44

注 1 未集計の市民アンケートが約 140 件あり、今後追加予定

注 2 ※は 5/9 時点で未集計

市民討論会について

当初想定していた参加者数（100 名程度）に満たないことから、今後の対応について以下の 2 通りが考えられる。

①追加募集を行う

方 法：名古屋城ホームページで 50 名程度、追加募集する
（応募者多数の場合は抽選を行う）

懸念事項：・従来の市民説明会同様、意見を言いたい人が参加する形となってしまう、無作為抽出のメリットであるフラットな市民意見の聴取が困難となる。

・抽選を行うこと自体が、恣意的に行ったと疑念を持たれてしまう

②会場変更

現 在：中区役所ホール（最大収容人数：約 500 名）

変 更 後：中区役所内の会議室（602、603）

懸念事項：会場変更に伴い、不参加者が発生。

⇒同じ中区役所内に確保することで、不参加を防ぐ。

名古屋城バリアフリーに関する市民討論会 参加票

「名古屋城バリアフリーに関する市民討論会」にご応募いただき、ありがとうございました。以下の通りお知らせいたします。当日、このはがきをご持参ください。

<開催日時>

令和5年6月3日（土） 14時00分～16時10分

（開場・受付開始は13時00分）

<開催場所>

中区役所ホール（名古屋市中区栄四丁目1-8）

公共交通機関を利用してお越しください。

<次第>

市長挨拶

講演

説明（名古屋城木造天守復元とバリアフリー）

討論会

<注意事項>

- ・発熱や咳、倦怠感などの風邪症状がある場合は、ご来場をお控えください。
- ・手指消毒用のアルコールをご用意しております。
- ・会場内での大声での会話、写真、ビデオなどによる撮影、または録音などは禁止します。
- ・当日、来場者の個人の方が特定されない形で、インターネット中継を行う場合があります。

<お問い合わせ先>

名古屋市観光文化交流局 名古屋城総合事務所

TEL：052-231-2488



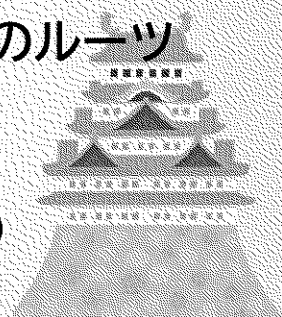
目次

1. 木造天守復元
2. バリアフリー対応
3. 木造天守復元の進捗状況と今後の予定

1. 木造天守復元

名古屋城の価値と意義

- 慶長15年（1610）築城開始
- 慶長18年（1613）以降、**清須越**が行われ、城下町が誕生
- 名古屋の都市形成と文化・芸能・産業のルーツ
- 焼失前の天守は、城郭として
国宝（当時）第一号に指定
（参考：国宝（当時）第二号は姫路城）

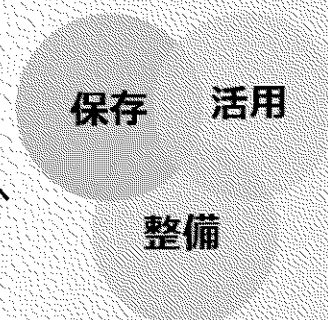


1

1. 木造天守復元

特別史跡名古屋城保存活用計画

- 平成30年度に策定
- 名古屋城を後世につなぐための**保存**、
魅力向上を図る**活用（公開）**、
保存と活用のための**整備**を進める



2

1. 木造天守復元 名古屋城「本丸」の整備

○本丸整備基本構想

近世期最高水準の技術により築城された
名古屋城の象徴である本丸の姿を現代に再現

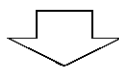
- 明治初期に姫路城とともに日本城郭の見本として永久保存されることとなった江戸期の名古屋城本丸の姿を再現する
- 現存する石垣、建造物等の適切な保存管理と現存しないものの段階的な復元等により、本丸全体を往時の姿が実体験できる場とする

3

1. 木造天守復元 名古屋城「天守」の整備

○木造天守復元の意義

世界最大級の高層木造建築物を外観に加えて、
内部空間の構造・意匠の細部に至るまで史実に忠実に復元



天守を外からの眺めと共に、天守内部に入り、体感して、
我が国の優れた文化と歴史、技術を知っていただく

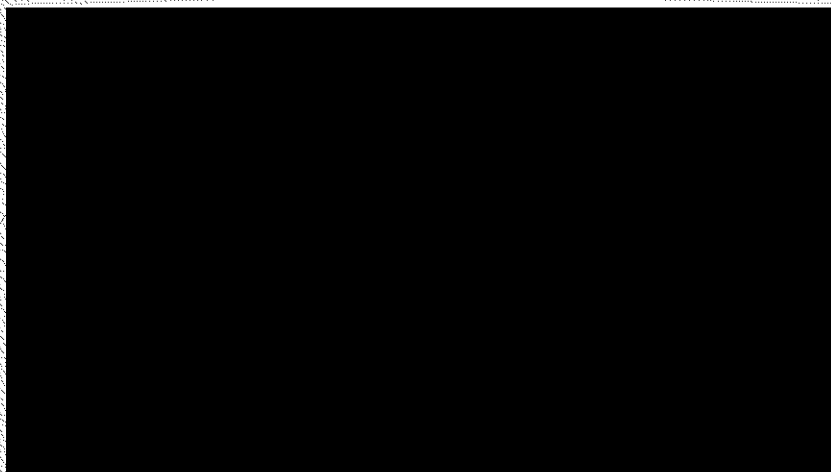


特別史跡名古屋城跡の
本質的価値の向上と理解の促進

4

1. 木造天守復元

天守閣木造復元イメージCG



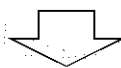
(2016年 株式会社竹中工務店 制作)

5

1. 木造天守復元

史実に忠実な復元とバリアフリーの調和

史実に忠実な復元が重要である一方で、
障害のある人もない人も共に木造天守を体感していただく
ためのバリアフリーも重要



史実に忠実な復元とバリアフリーの調和

6

1. 木造天守復元 バリアフリーに関する法律

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）

第6条（施設設置管理者等の責務）

施設設置管理者その他の高齢者、障害者等が日常生活又は社会生活において利用する施設を設置し、又は管理する者は、**移動等円滑化のために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。**

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）

第5条（社会的障壁の除去の実施についての必要かつ合理的な配慮に関する環境の整備）

行政機関等及び事業者は、**社会的障壁の除去の実施についての必要かつ合理的な配慮を的確に行うため、自ら設置する施設の構造の改善及び設備の整備、関係職員に対する研修その他の必要な環境の整備に努めなければならない。**

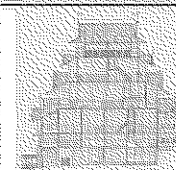
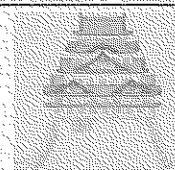


努力義務がある

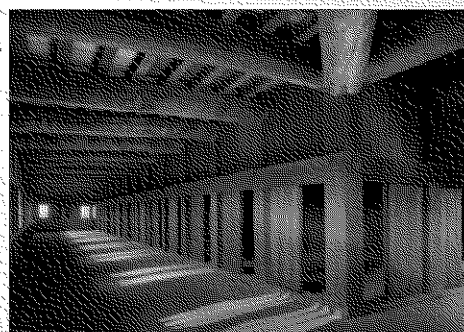
7

1. 木造天守復元 復元の方針

- ・ 調査研究に基づく史実に忠実な復元
（昭和実測図、ガラス乾板写真、金城温古録）
- ・ 遺構の保存に十分に配慮した整備
- ・ 防災上の安全確保とバリアフリー
（出火防止、避難誘導、初期消火、スロープ、昇降設備など）



昭和実測図



大天守1階西側入側（ガラス乾板写真）

8

1. 木造天守復元

史実に忠実な復元とバリアフリーの調和

○復元の考え方

①柱・梁を傷めない

木造建築物の主要な構造部である柱や梁を傷めない

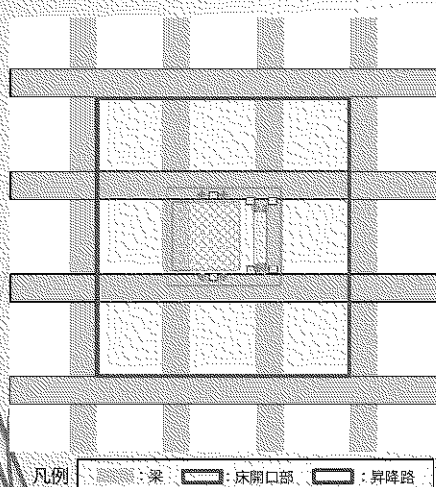
②可逆性

取り外すことにより、往時の状態に戻ることができる

9

2. バリアフリー対応

一般的なエレベーターについて



平面図

一般的なエレベーターはサイズが大きい



梁の有効内寸に収まらない



梁を取り除く必要があり、設置できない

10

2. バリアフリー対応

円滑に移動するために除去すべき社会的障壁

地上から大天守地階まで	大天守内部
・ 階段 ・ 段差（門の敷居等）	・ 内部の昇り降りの方法は階段のみ

車いす利用者、高齢者、けが人等の方々の円滑な移動の妨げ

木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針

11

2. バリアフリー対応

昇降技術公募とその結果

○昇降技術の公募の概要

目 的 できるだけ多くの方が使用できる昇降技術を募り
実用化することで、史実に忠実な復元とバリアフリーの調和を実現

公募への高齢者、障害者等の参画

高齢者、障害者等からの意見を踏まえ、昇降技術を選定

・公募の結果

最優秀者	株式会社MH I エアロスペースプロダクション
提案技術	フェリー等の船舶内及び航空機搭乗機材への 導入実績のある技術をベースに開発する垂直昇降設備

12

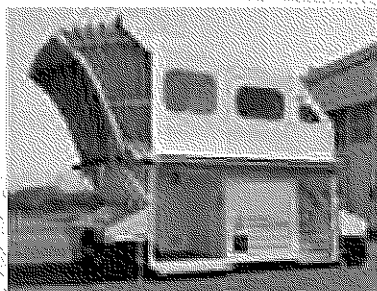
2. バリアフリー対応 最優秀者の技術

○最優秀者の実績

- 船舶内で実績のある昇降設備



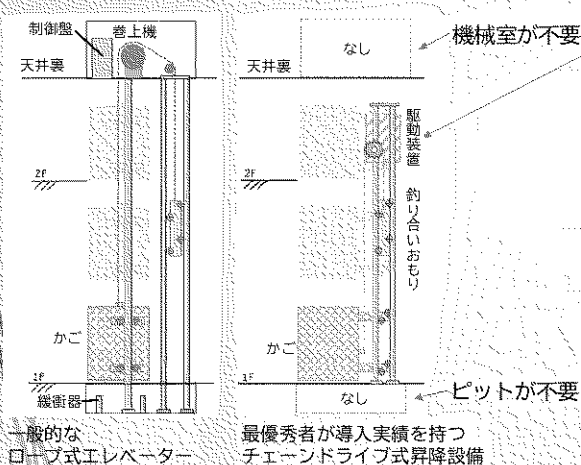
- 航空機搭乗機材



13

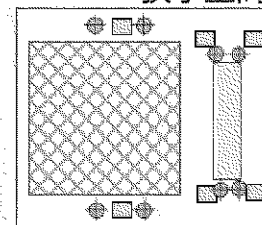
2. バリアフリー対応 最優秀者の技術

○一般的なエレベーターとの違い

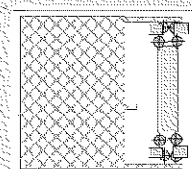


上からロープで吊るのではなく釣り合いおもり、駆動装置等とまとめて片側支持

狭小空間に設置可能



一般的なロープ式エレベーター



最優秀者が導入実績を持つチェーンドライブ式昇降設備

断面図

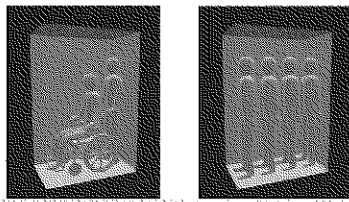
平面図

14

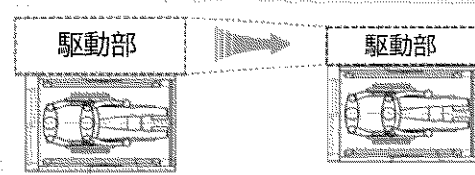
2. バリアフリー対応 最優秀者の技術

○最優秀者の提案技術の概要

- ・ 定員4名または車いす利用者1名と介助者1名が搭乗可能
- ・ 木造の柱・梁を取り除かずに設置できるよう小型化
- ・ 取り外すことで、史実に忠実な状態に戻すことが可能



搭乗イメージ

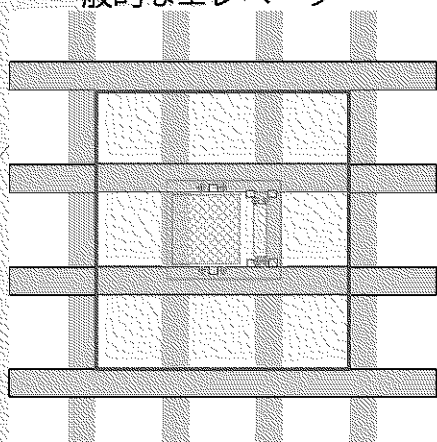


小型化のイメージ

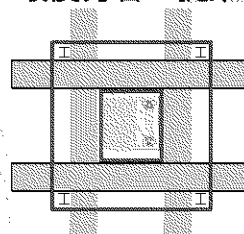
15

2. バリアフリー対応 最優秀者の技術

限られたスペースへの対応 一般的なエレベーター



最優秀者の提案



凡例 □ : 梁 □ : 床開口部 □ : 昇降路

16

2. バリアフリー対応

昇降技術を入れたらどんなイメージ？



昇降技術 なし



昇降技術 あり
周囲との違いを明確にした場合

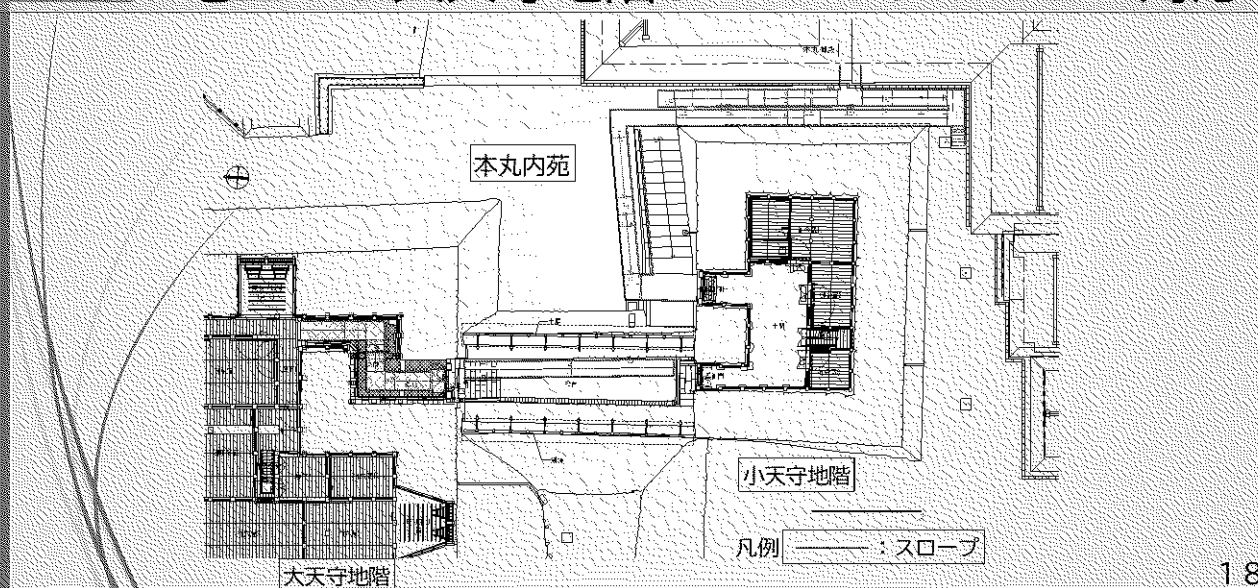


昇降技術 あり
周囲と溶け込ませた場合

17

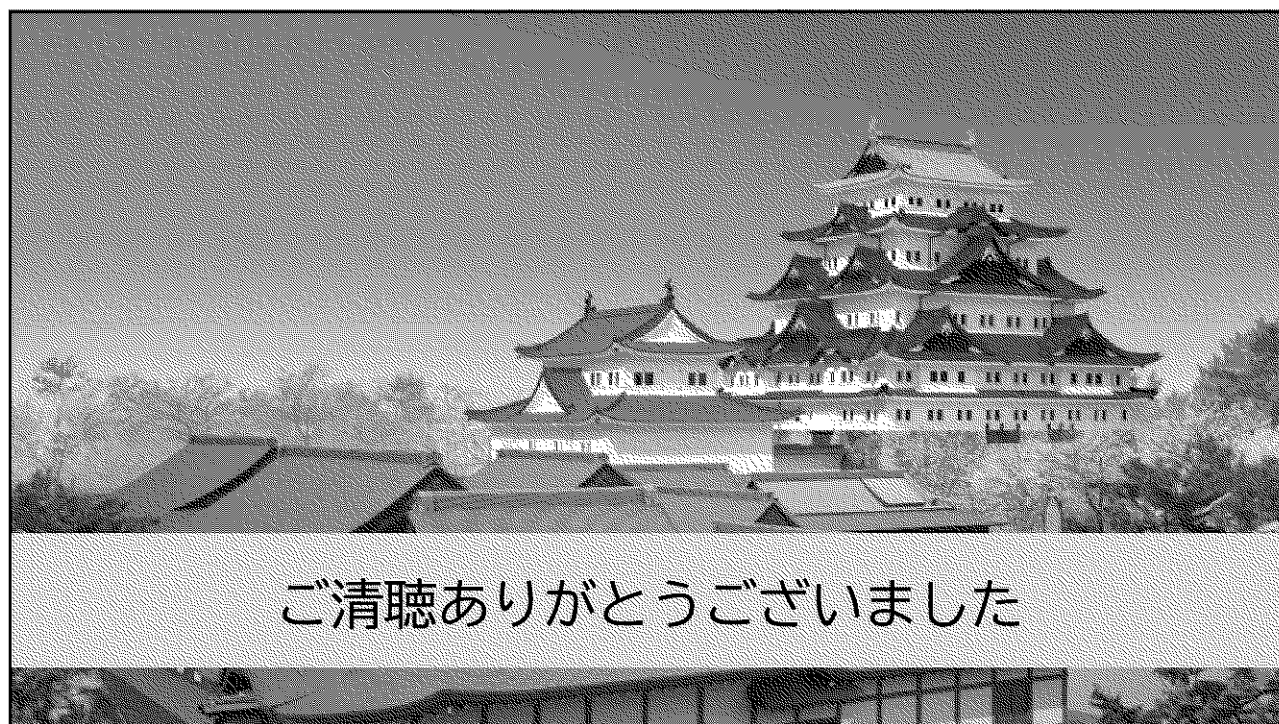
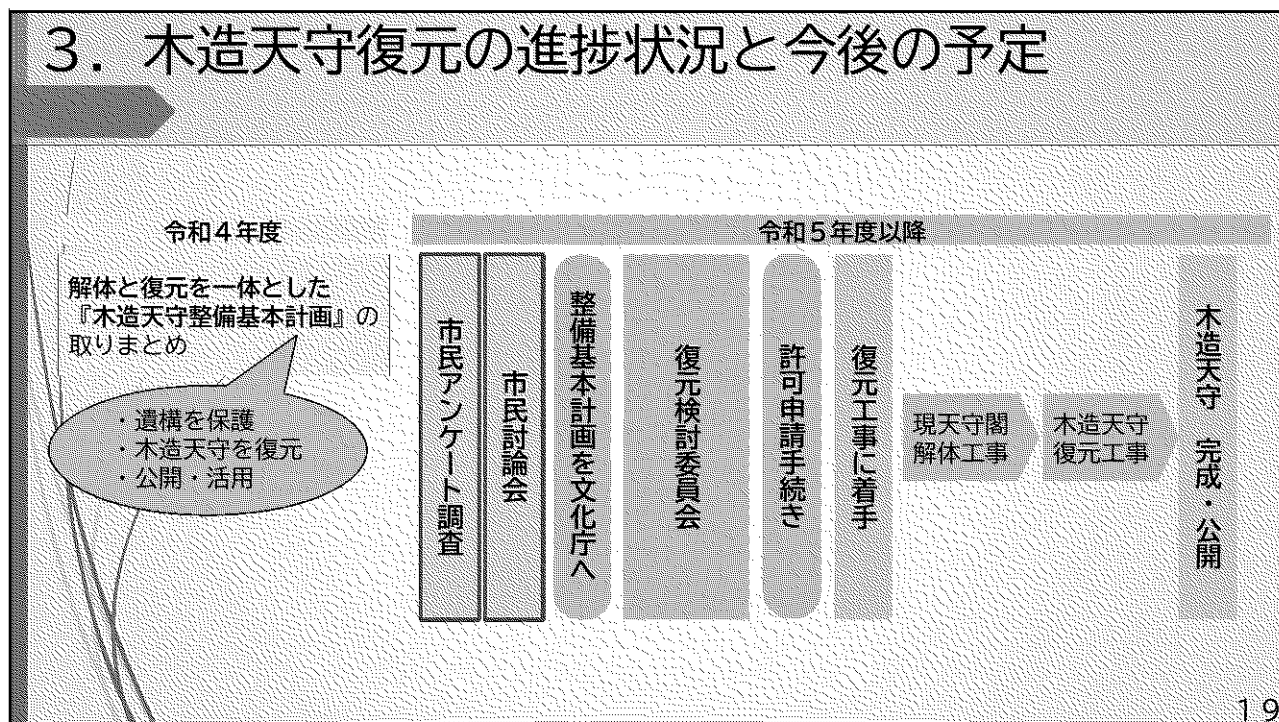
2. バリアフリー対応

地上から大天守地階までのバリアフリー対応



18

3. 木造天守復元の進捗状況と今後の予定



名古屋城バリアフリーに関する市民討論会の流れ

開催日：令和5年6月3日（土）

会 場：中区役所6階会議室

時間	イベント	内 容
13:00	開場	
14:00	開会	趣旨説明、本日の流れ(3分)
14:03	市長開会挨拶	(2分)
14:05	講演	テーマ:「木造天守の意義など」を予定(30分)
14:35	名古屋城のバリアフリーに関する説明	木造天守復元の概要(バリアフリー含む)(30分)
15:05	休憩	(15分)
15:20	有識者(3名:パネラー)からの解説	バリアフリーに関する説明等について(15分)
15:35	討論会	冒頭にアンケートの中間報告、参加者挙手、司会が指名(30分)
16:05	市長閉会挨拶	(2分)
16:07	閉会	
16:15	市長囲み取材対応	
16:30	撤収作業	
	6/5(月)14:00～ バリアフリー検討会議	有識者から意見を聞く 当日夕に市長へ意見伝達
	↓	↓
	6/6(火)(予定) 市長方針	名古屋城総合事務所に対する指示書受領

市民アンケートの返信及び市民討論会参加申込状況（5/9 現在）

	市民アンケート返信 件 (%)			市民討論会参加申込者 名 (%)
	全体	うち		
		子育て 世帯	障害者	
未設置	288 (23.7)	31 (23.5)	7 (12.3)	13 (29.6)
1 階	193 (15.9)	23 (17.4)	4 (7)	7 (15.9)
5 階	578 (47.7)	70 (53.0)	39 (68.4)	18 (40.9)
わからない	105 (8.7)	8 (6.1)	7 (12.3)	2 (4.5)
その他	26 (2.1)	※	※	3 (6.8)
不明	23 (1.9)	※	※	1 (2.3)
合計	1213	132	57	44

注 1 未集計の市民アンケートが約 140 件あり、今後追加予定

注 2 ※は 5/9 時点で未集計

市民討論会の会場について

当初想定していた参加者数（100 名程度）に満たないことから、会場変更を行う。

変更前：中区役所ホール（最大収容人数：約 500 名）

変更後：中区役所 6F 大会議室

名古屋城バリアフリーに関する市民討論会 参加票

「名古屋城バリアフリーに関する市民討論会」にご応募いただき、ありがとうございました。以下の通りお知らせいたします。当日、このはがきをご持参ください。

<開催日時>

令和5年6月3日（土） 14時00分～16時10分

（開場・受付開始は13時00分）

<開催場所>

中区役所 6階会議室（名古屋市中区栄四丁目1-8）

※開催場所変更となっておりますので、お間違いのないようご注意ください。

公共交通機関を利用してお越しください。

<次第>

市長挨拶

講演

説明（名古屋城木造天守復元とバリアフリー）

討論会

<注意事項>

- ・発熱や咳、倦怠感などの風邪症状がある場合は、ご来場をお控えください。
- ・手指消毒用のアルコールをご用意しております。
- ・会場内での大声での会話、写真、ビデオなどによる撮影、または録音などは禁止します。
- ・当日、来場者の個人の方が特定されない形で、インターネット中継を行う場合があります。
- ・報道機関の取材が入る場合があります。

<お問い合わせ先>

名古屋市観光文化交流局 名古屋城総合事務所

TEL：052-231-2488



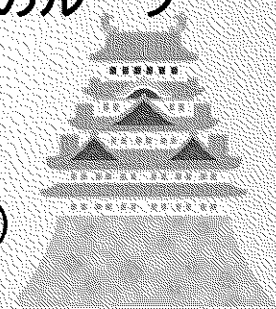
目次

1. 木造天守復元
2. バリアフリー対応
3. 木造天守復元の進捗状況と今後の予定

1. 木造天守復元

名古屋城の価値と意義

- 慶長15年（1610）築城開始
- 慶長18年（1613）以降、清須越が行われ、城下町が誕生
- 名古屋の都市形成と文化・芸能・産業のルーツ
- 焼失前の天守は、城郭として
国宝（当時）第一号に指定
（参考：国宝（当時）第二号は姫路城）

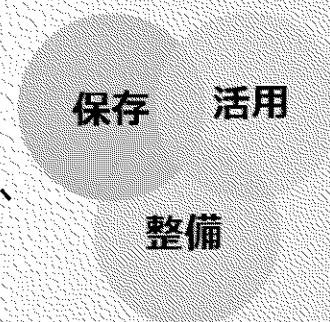


1

1. 木造天守復元

特別史跡名古屋城保存活用計画

- 平成30年度に策定
- 名古屋城を後世につなぐための**保存**、
魅力向上を図る**活用（公開）**、
保存と活用のための**整備**を進める



2

1. 木造天守復元 名古屋城「本丸」の整備

○本丸整備基本構想

近世期最高水準の技術により築城された
名古屋城の象徴である本丸の姿を現代に再現

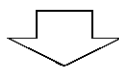
- 明治初期に姫路城とともに日本城郭の見本として永久保存されることとなった江戸期の名古屋城本丸の姿を再現する
- 現存する石垣、建造物等の適切な保存管理と現存しないものの段階的な復元等により、本丸全体を往時の姿が実体験できる場とする

3

1. 木造天守復元 名古屋城「天守」の整備

○木造天守復元の意義

世界最大級の高層木造建築物を外観に加えて、
内部空間の構造・意匠の細部に至るまで史実に忠実に復元



天守を外からの眺めと共に、天守内部に入り、体感して、
我が国の優れた文化と歴史、技術を知っていただく

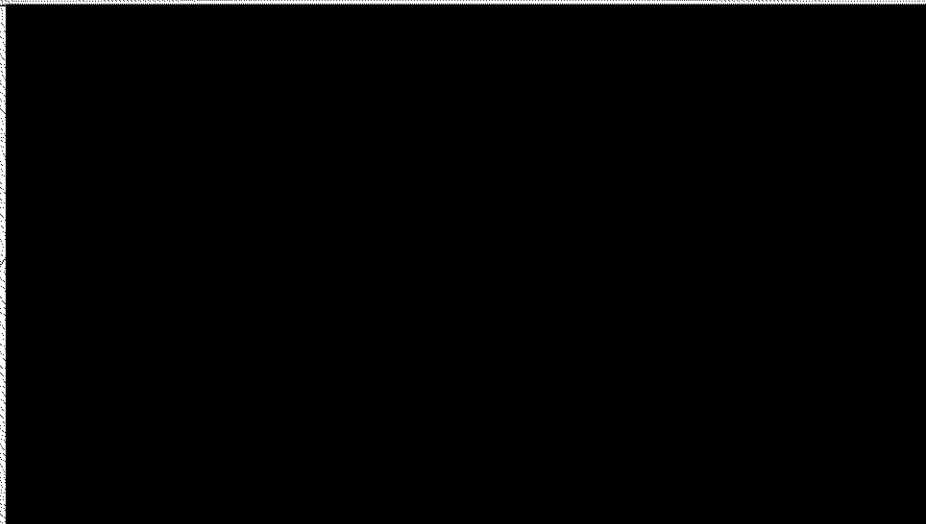


特別史跡名古屋城跡の
本質的価値の向上と理解の促進

4

1. 木造天守復元

天守閣木造復元イメージCG



(2016年 株式会社竹中工務店 制作)

5

1. 木造天守復元

史実に忠実な復元とバリアフリー

史実に忠実な復元が重要である一方で、
障害のある人もない人も共に木造天守を
体感していただくためのバリアフリーも
重要

6

1. 木造天守復元 バリアフリーに関する法律

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）

第6条（施設設置管理者等の責務）

施設設置管理者その他の高齢者、障害者等が日常生活又は社会生活において利用する施設を設置し、又は管理する者は、**移動等円滑化のために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。**

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）

第5条（社会的障壁の除去の実施についての必要かつ合理的な配慮に関する環境の整備）

行政機関等及び事業者は、**社会的障壁の除去の実施についての必要かつ合理的な配慮を的確に行うため、自ら設置する施設の構造の改善及び設備の整備、関係職員に対する研修その他の必要な環境の整備に努めなければならない。**

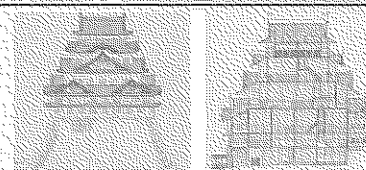


努力義務がある

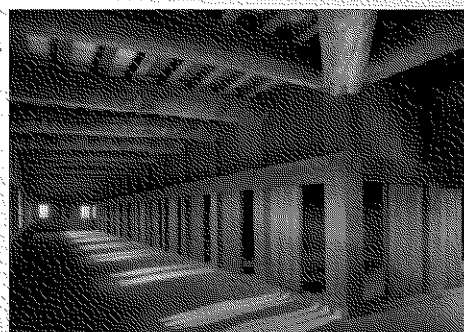
7

1. 木造天守復元 復元の方針

- ・ 調査研究に基づく史実に忠実な復元
（昭和実測図、ガラス乾板写真、金城温古録）
- ・ 遺構の保存に十分に配慮した整備
- ・ 防災上の安全確保とバリアフリー
（出火防止、避難誘導、初期消火、スロープ、昇降設備など）



昭和実測図



大天守1階西側入側（ガラス乾板写真）

8

1. 木造天守復元 復元の考え方

① 柱・梁を傷めない

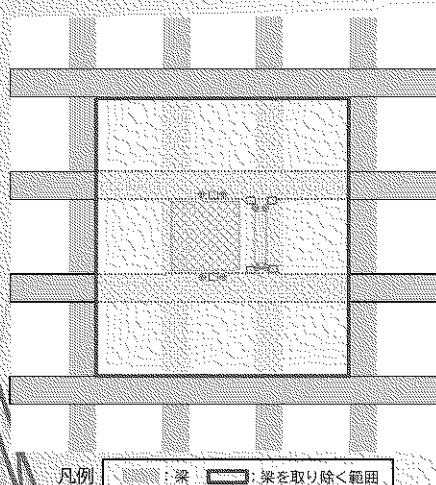
木造建築物の主要な構造部である柱や梁を切り欠いたり取り除いたりしない。

② 可逆性

取り外すことにより、往時の状態に戻ることができる

9

2. バリアフリー対応 一般的なエレベーターについて



凡例 梁 梁を取り除く範囲

平面図

一般的なエレベーターはサイズが大きい



梁を取り除く必要があり、設置できない



車いす利用者、高齢者、けが人等の方々の円滑な移動のための対応が必要



木造天守閣の昇降に関する
付加設備の方針

10

2. バリアフリー対応

木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針

○基本方針（抜粋）

- ・ 新技術の開発には、国内外から幅広く提案を募る。
- ・ また、協議会を新たに設置し、障害者団体等当事者の意見を丁寧に聞くことにより、誰もが利用できる付加設備の開発を行う。
- ・ 再建後は元来の姿を見ることができるようになり、介助要員、補助具を配置することなどにより、今より、快適に観覧できるようにする。
- ・ 例えば、昇降装置を有する特殊車両を応用し、外部から直接出入りすることや、ロボット技術を活用し内部階段を昇降するなどが挙げられる。併せてVR技術を活用した体感施設の設置を行う。

11

2. バリアフリー対応

昇降技術公募とその結果

○昇降技術の公募の概要

募集する技術

史実に基づく復元にあたり、柱や梁を傷めることのない昇降技術を募集

公募への高齢者、障害者等の参画

高齢者、障害者等からの意見を踏まえ、昇降技術を選定

・ 公募の結果

最優秀者	株式会社MHIエアロスペースプロダクション
提案技術	フェリー等の船舶内及び航空機搭乗機材への 導入実績のある技術をベースに開発する垂直昇降設備

12

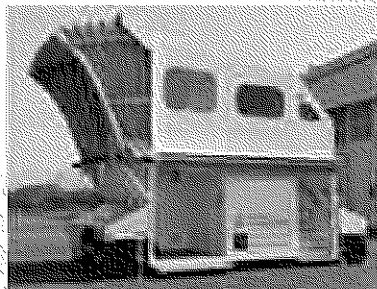
2. バリアフリー対応 最優秀者の技術

○最優秀者の実績

- ・ 船舶内で実績のある昇降設備



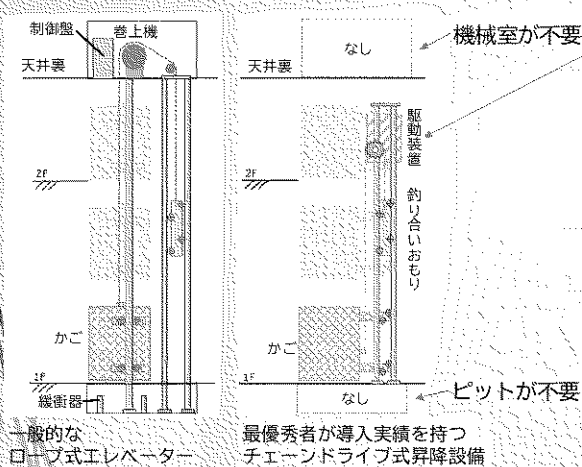
- ・ 航空機搭乗機材



13

2. バリアフリー対応 最優秀者の技術

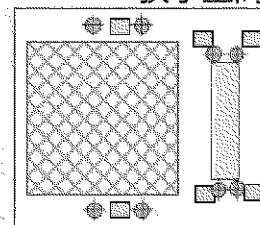
○一般的なエレベーターとの違い



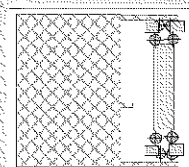
断面図

上からロープで吊るのではなく釣り合いおもり、駆動装置等とまとめて片側支持

狭小空間に設置可能



一般的なロープ式エレベーター



最優秀者が導入実績を持つチェーンドライブ式昇降設備

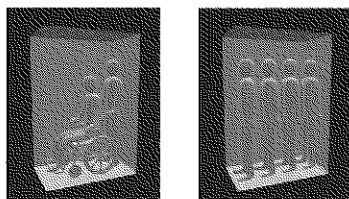
平面図

14

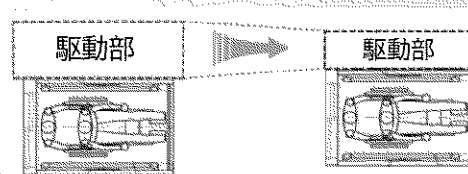
2. バリアフリー対応 最優秀者の技術

○最優秀者の提案技術の概要

- ・ 定員4名または車いす利用者1名と介助者1名が搭乗可能
- ・ 木造の柱・梁を取り除かずに設置できるよう小型化
- ・ 取り外すことで、史実に忠実な状態に戻すことが可能



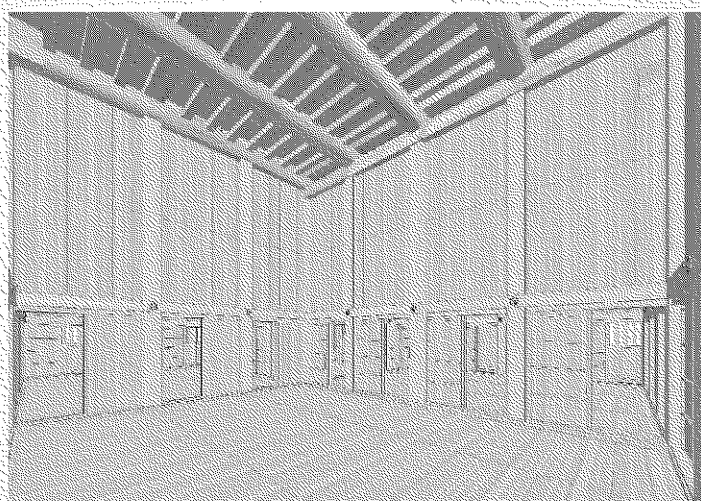
搭乗イメージ



小型化のイメージ

15

2. バリアフリー対応 昇降技術を入れたらどんなイメージ？



昇降技術 なし

16

2. バリアフリー対応

昇降技術を入れたらどんなイメージ？



昇降技術 あり
周囲との違いを明確にした場合

17

2. バリアフリー対応

昇降技術を入れたらどんなイメージ？

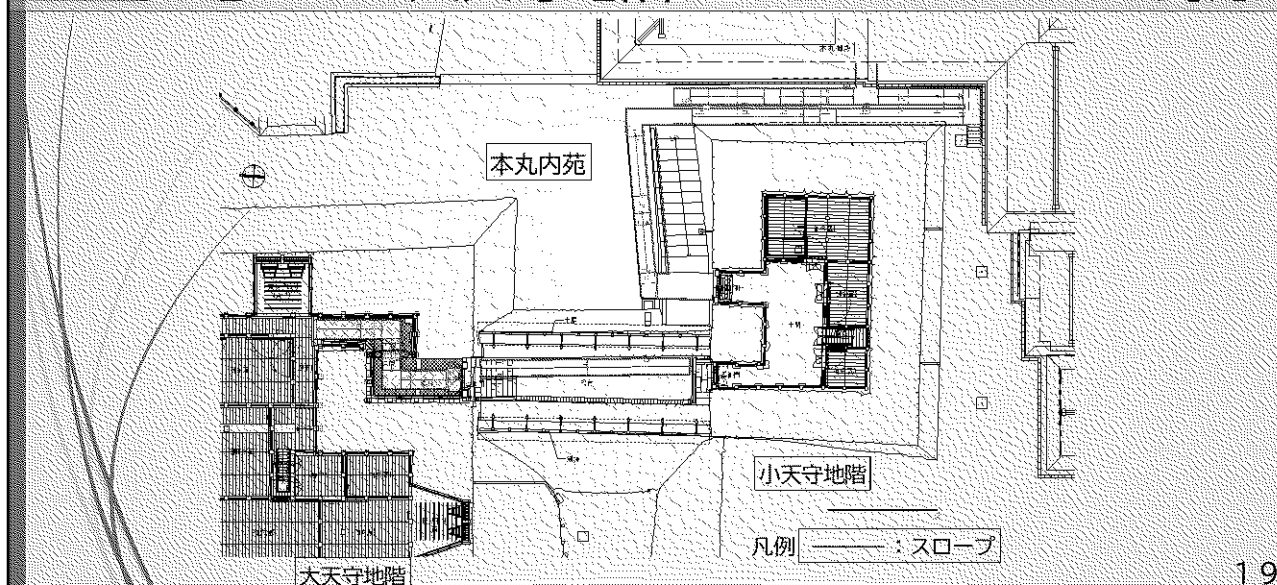


昇降技術 あり
周囲と溶け込ませた場合

18

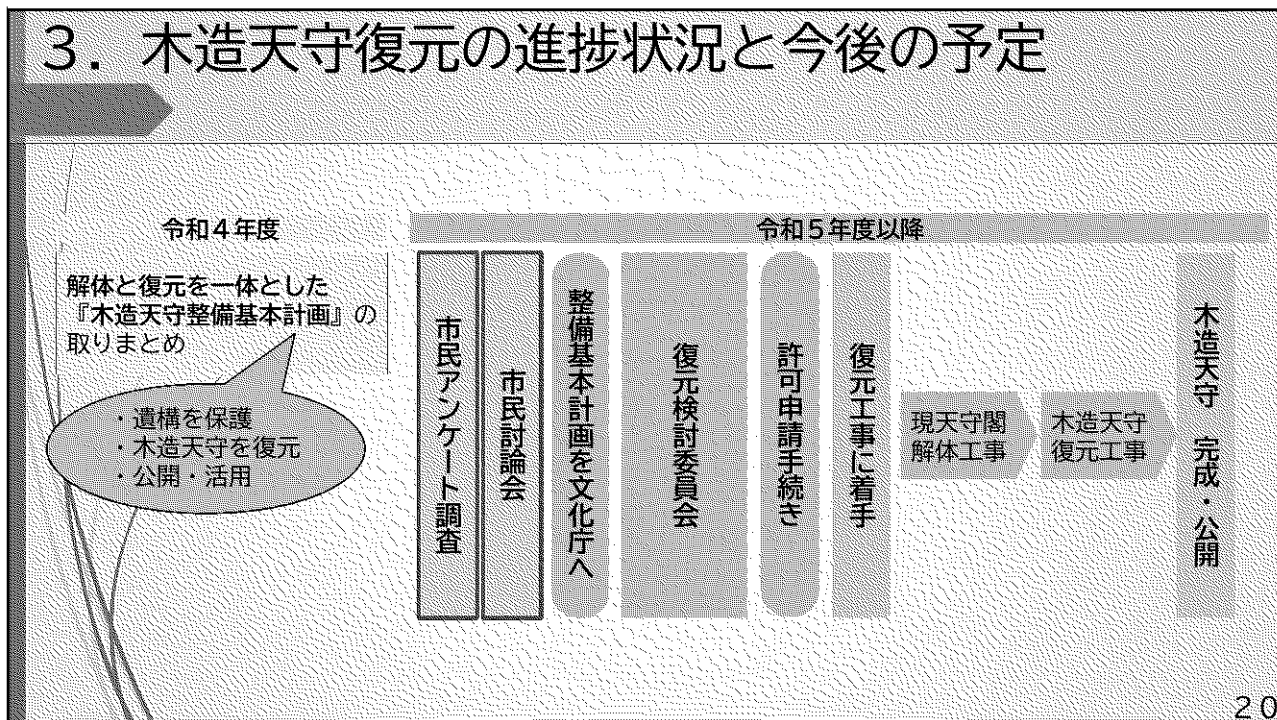
2. バリアフリー対応

地上から大天守地階までのバリアフリー対応



19

3. 木造天守復元の進捗状況と今後の予定



20



市民アンケートの返信及び市民討論会参加申込状況（5/9 現在）

	市民アンケート返信 件 (%)			市民討論会参加申込者 名 (%)
	全体	うち		
		子育て世帯	障害者	
未設置	288 (23.7)	31 (23.5)	7 (12.3)	13 (29.6)
1 階	193 (15.9)	23 (17.4)	4 (7)	7 (15.9)
5 階	578 (47.7)	70 (53.0)	39 (68.4)	18 (40.9)
わからない	105 (8.7)	8 (6.1)	7 (12.3)	2 (4.5)
その他	26 (2.1)	※	※	3 (6.8)
不明	23 (1.9)	※	※	1 (2.3)
合計	1213	132	57	44

注 1 未集計の市民アンケートが約 140 件あり、今後追加予定

注 2 ※は 5/9 時点で未集計

市民討論会について

名古屋城木造復元とバリアフリーの市民の考えについて、客観的に、幅広く、全体の傾向を把握するため、無作為抽出により選ばれた市民に行った市民アンケートの回答者を対象に市民討論会の実施の検討を進めてきた。

しかし、当初想定していた参加者数（100 名程度）に満たないことから、今後の対応について以下の 2 通りが考えられる。

①会場変更を行う

現 在：中区役所ホール（会場規模：約 500 名）

変 更 後：中区役所内 6 階会議室（会場規模：約 100 名）

懸念事項：会場変更による参加者の減少

⇒同じ中区役所内で会場を確保することで対応

②追加募集を行う

方 法：名古屋城ホームページで一般参加を募集し、事前申込不要で実施（抽選はせず、自由参加とする）

懸念事項：特定の意見を持った人が多数参加した場合、その意見に寄った発言が多数となる可能性がある

令和 5 年 5 月 16 日

市民討論会について

名古屋城本造復元とバリアフリーの市民の考えについて、客観的に、幅広く、全体の傾向を把握するため、無作為抽出により選ばれた市民に行った市民アンケートの回答者を対象に市民討論会の実施の検討を進めてきた。

しかし、当初想定していた参加者数（100 名程度）に満たないことから、今後の対応について以下の 2 通りが考えられる。

①会場変更を行う

現 在：中区役所ホール（会場規模：約 500 名）

変 更 後：中区役所内 6 階会議室（会場規模：約 100 名）

懸念事項：会場変更による参加者の減少

⇒同じ中区役所内で会場を確保することで対応

②追加募集を行う

方 法：名古屋城ホームページで一般参加を募集し、事前申込不要で実施

懸念事項：特定の意見を持った人が多数参加した場合、その意見に寄った発言が多数となる可能性がある

市民アンケートの返信状況（5/15 速報）

	市民アンケート返信 件 (%)		
	全体	うち	
		子育て世帯	障害者
未設置	339 (23.4)	35 (21.6)	38 (19.4)
1 階	244 (16.9)	30 (18.5)	33 (16.8)
5 階	684 (47.2)	81 (50.0)	106 (54.1)
わからない	120 (8.3)	9 (5.6)	13 (6.6)
その他	33 (2.3)	4 (2.5)	3 (1.5)
不明	28 (1.9)	3 (1.9)	3 (1.5)
合計	1448	162	196

文化庁提出までのスケジュール（案）

日時				事項
5月	26	金	11:00	市民討論会、バリアフリー検討会議 報道投げ
	27	土		
	28	日	10:00	石垣・埋蔵文化財部会（能楽堂会議室）
	29	月		
	30	火		
	31	水		
6月	1	木		
	2	金		
	3	土	14:00	市民討論会（中区役所 6 階会議室） ⇒終了後、囲み取材予定
	4	日		
	5	月	14:00	バリアフリー検討会議（能楽堂）⇒ 16 時:市長報告
	6	火	16:45	市長指示書 ⇒17 時 15 分:記者会見(調整中)
	7	水		
	8	木		
	9	金		
	10	土		
	11	日		
	12	月	13:00	全体整備検討会議（国際センター）
	13	火		
	14	水		
	15	木	15:00	所管事務調査
	16	金		

※基本計画の文化庁への提出日時については 1 6 日 P M を含めて、文化財保護室を通じ調整中。文化庁庁舎前 ぶらさがり

○名古屋城バリアフリーに関する市民討論会の流れ

- ・開催日：令和5年6月3日（土）
- ・会 場：中区役所6階会議室

時間	イベント	内 容
13:00	開場	
14:00	開会	趣旨説明、本日の流れ(3分)
14:03	市長開会挨拶	(2分)
14:05	講演	テーマ:「木造天守の意義など」を予定(30分)
14:35	名古屋城木造天守復元とバリアフリー	木造天守復元の概要(バリアフリー含む)(20分)
14:55	休憩	(10分)
15:05	有識者(3名:パネラー)からの解説	木造天守復元とバリアフリーに関する説明等について
	討論会	冒頭にアンケートの中間報告、参加者挙手、司会が指名
16:05	市長閉会挨拶	(2分)
16:07	閉会	
16:15	市長囲み取材対応	
16:30	撤収作業	

注 当日はインターネット中継を行う予定

○出席予定者一覧

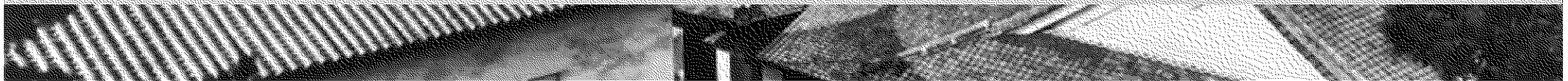
- ・有識者（敬称略）

専門分野	所属	氏名
環境工学	愛知産業大学元学長	堀越 哲美
建築史 文化財保存修理	名古屋工業大学名誉教授	麓 和善
建築 バリアフリー	一般社団法人バリアフリー総合研究所 UDラボ 東海 代表理事	阿部 一雄

- ・武将隊 陣笠なつ



名古屋城木造天守復元とバリアフリー



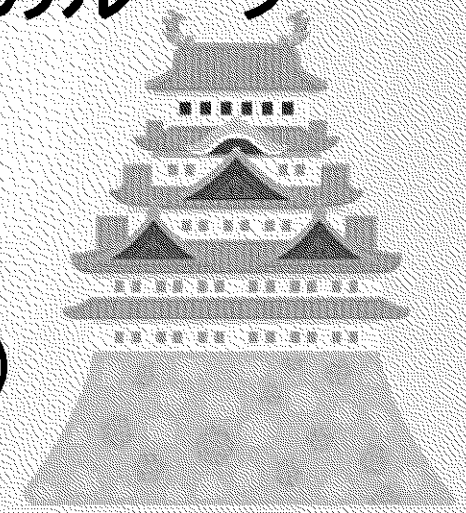
目次

1. 木造天守復元
2. バリアフリー対応
3. 木造天守復元の進捗状況と今後の予定

1. 木造天守復元

名古屋城の価値と意義

- 慶長15年（1610）築城開始
- 慶長18年（1613）以降、**清須越**が行われ、
城下町が誕生
- 名古屋の都市形成と文化・芸能・産業のルーツ
- 焼失前の天守は、城郭として
国宝（当時）第一号に指定
（参考：国宝（当時）第二号は姫路城）

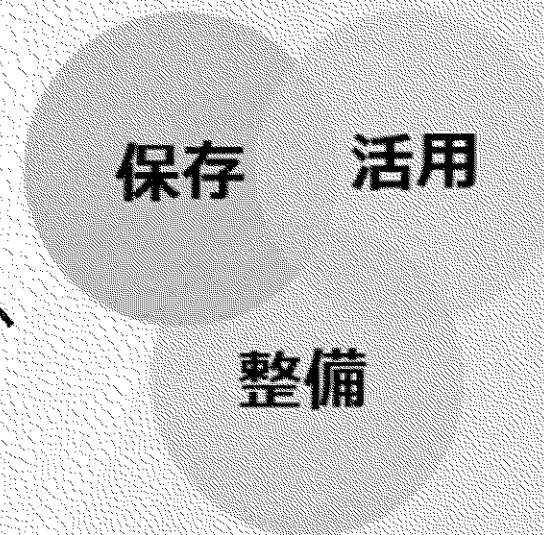


1. 木造天守復元

特別史跡名古屋城保存活用計画

○平成30年度に策定

○名古屋城を後世につなぐための**保存**、
魅力向上を図る**活用（公開）**、
保存と活用のための**整備**を進める



1. 木造天守復元

名古屋城「本丸」の整備

○本丸整備基本構想

近世期最高水準の技術により築城された
名古屋城の象徴である本丸の姿を現代に再現

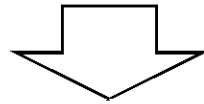
- 明治初期に姫路城とともに日本城郭の見本として永久保存されることとなった江戸期の名古屋城本丸の姿を再現する
- 現存する石垣、建造物等の適切な保存管理と現存しないものの段階的な復元等により、本丸全体を往時の姿が実体験できる場とする

1. 木造天守復元

名古屋城「天守」の整備

○木造天守復元の意義

世界最大級の高層木造建築物を外観に加えて、
内部空間の構造・意匠の細部に至るまで史実に忠実に復元



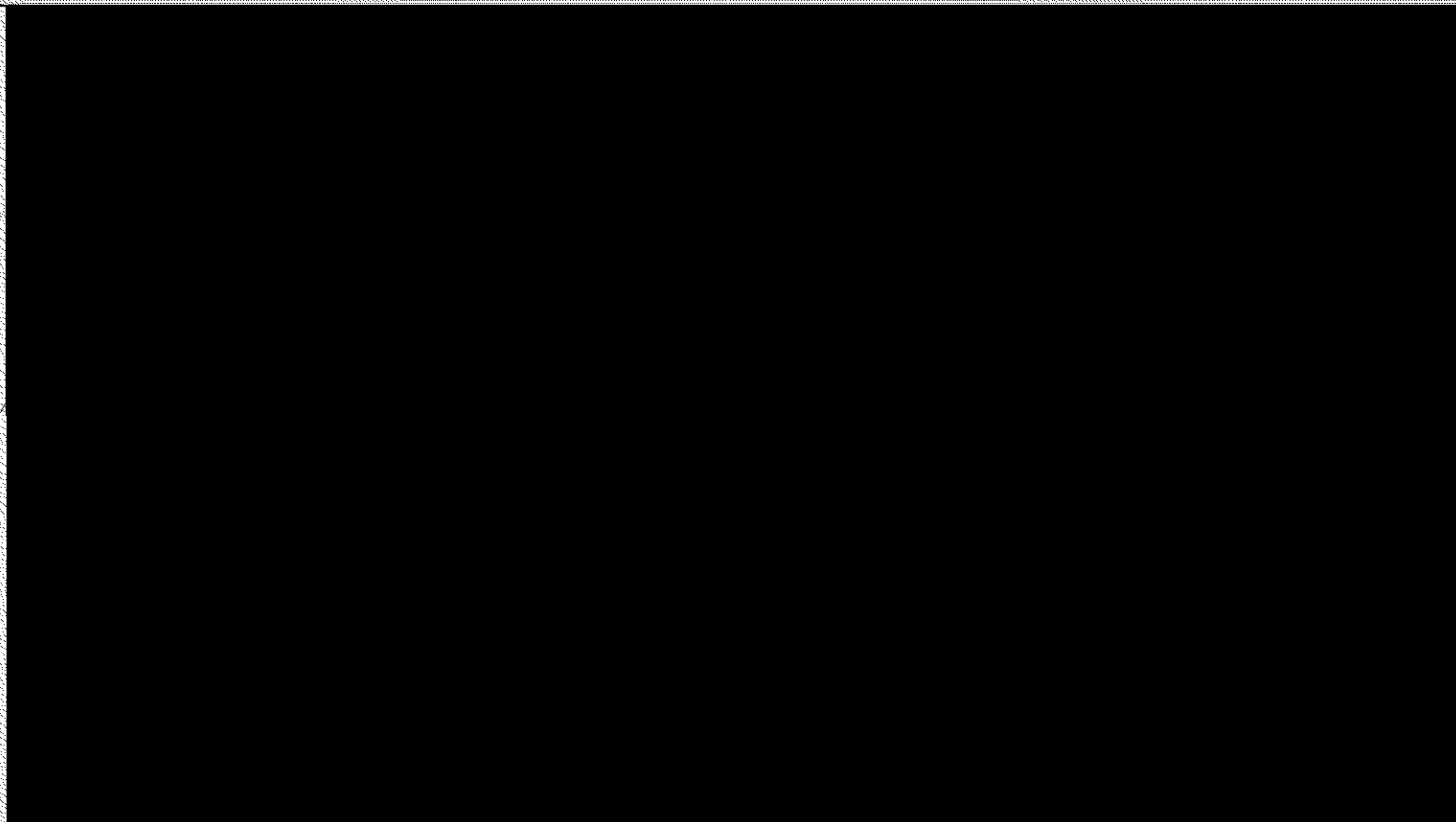
天守を外からの眺めと共に、天守内部に入り、体感して、
我が国の優れた文化と歴史、技術を知っていただく



特別史跡名古屋城跡の
本質的価値の向上と理解の促進

1. 木造天守復元

天守閣木造復元イメージCG



(2016年 株式会社竹中工務店 制作)

1. 木造天守復元

史実に忠実な復元とバリアフリー

史実に忠実な復元が重要である一方で、
障害のある人もない人も共に木造天守を
体感していただくためのバリアフリーも
重要

1. 木造天守復元

バリアフリーに関する法律

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）

第6条（施設設置管理者等の責務）

施設設置管理者その他の高齢者、障害者等が日常生活又は社会生活において利用する施設を設置し、又は管理する者は、**移動等円滑化のために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。**

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）

第5条（社会的障壁の除去の実施についての必要かつ合理的な配慮に関する環境の整備）

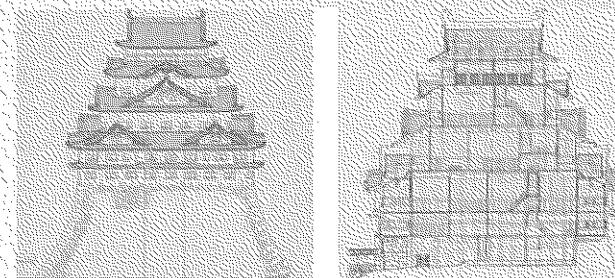
行政機関等及び事業者は、**社会的障壁の除去**の実施についての必要かつ合理的な配慮を的確に行うため、自ら設置する施設の構造の改善及び設備の整備、関係職員に対する研修その他の**必要な環境の整備に努めなければならない。**



努力義務がある

1. 木造天守復元 復元の方針

- 調査研究に基づく史実に忠実な復元
(昭和実測図、ガラス乾板写真、金城温古録)
- 遺構の保存に十分に配慮した整備
- 防災上の安全確保とバリアフリー
(出火防止、避難誘導、初期消火、スロープ、
昇降設備など)



昭和実測図



大天守1階西側入側（ガラス乾板写真）

1. 木造天守復元

復元の考え方

①柱・梁を傷めない

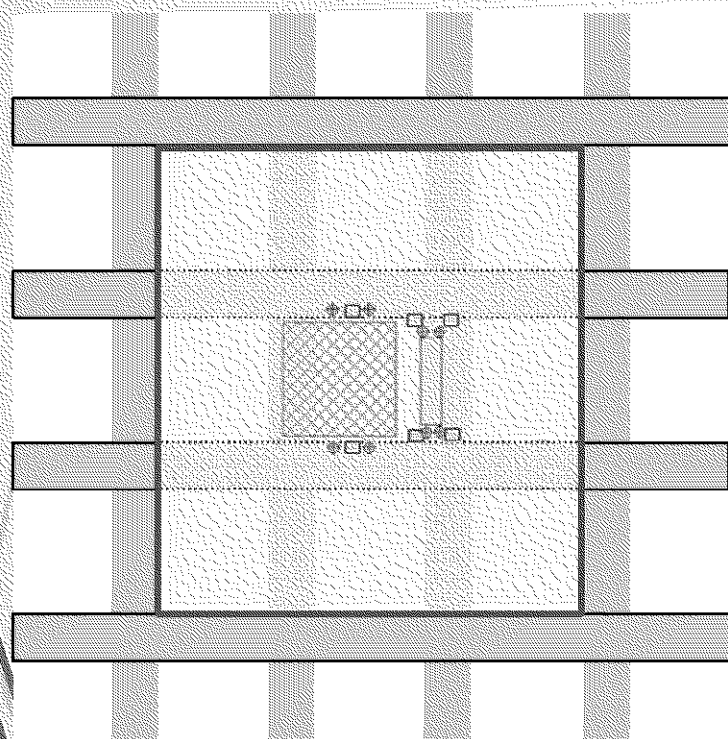
木造建築物の主要な構造部である柱や梁を切り欠いたり取り除いたりしない。

②可逆性

取り外すことにより、往時の状態に戻すことができる

2. バリアフリー対応

一般的なエレベーターについて



凡例

■ : 梁 □ : 梁を取り除く範囲

平面図

一般的なエレベーターはサイズが大きい



梁を取り除く必要があり、設置できない



車いす利用者、高齢者、けが人等の方々の
円滑な移動のための対応が必要



木造天守閣の昇降に関する
付加設備の方針

2. バリアフリー対応

木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針

○基本方針（抜粋）

- ▮ 新技術の開発には、国内外から幅広く提案を募る。
- ▮ また、協議会を新たに設置し、障害者団体等当事者の意見を丁寧に聞くことにより、誰もが利用できる付加設備の開発を行う。
- ▮ 再建後は元来の姿を見ることができるようになり、介助要員、補助具を配置することなどにより、今より、快適に観覧できるようにする。
- ▮ 例えば、昇降装置を有する特殊車両を応用し、外部から直接出入りすることや、ロボット技術を活用し内部階段を昇降するなどが挙げられる。併せてV R技術を活用した体感施設の設置を行う。

2. バリアフリー対応

昇降技術公募とその結果

○昇降技術の公募の概要

募集する技術

史実に基づく復元にあたり、柱や梁を傷めることのない昇降技術を募集

公募への高齢者、障害者等の参画

高齢者、障害者等からの意見を踏まえ、昇降技術を選定

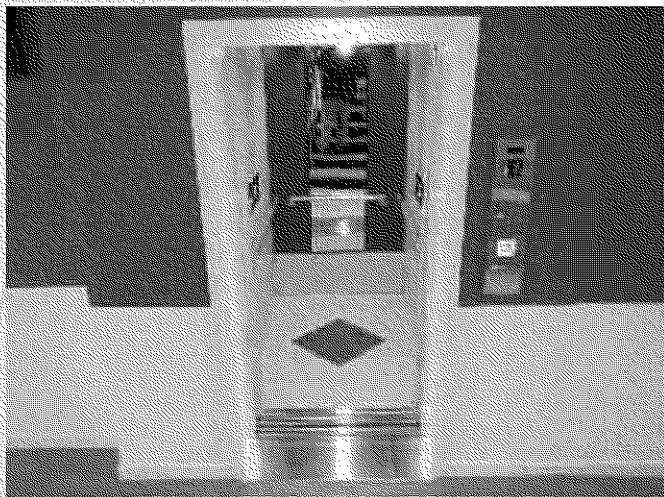
・公募の結果

最優秀者	株式会社MH Iエアロスペースプロダクション
提案技術	フェリー等の船舶内及び航空機搭乗機材への 導入実績のある技術をベースに開発する垂直昇降設備

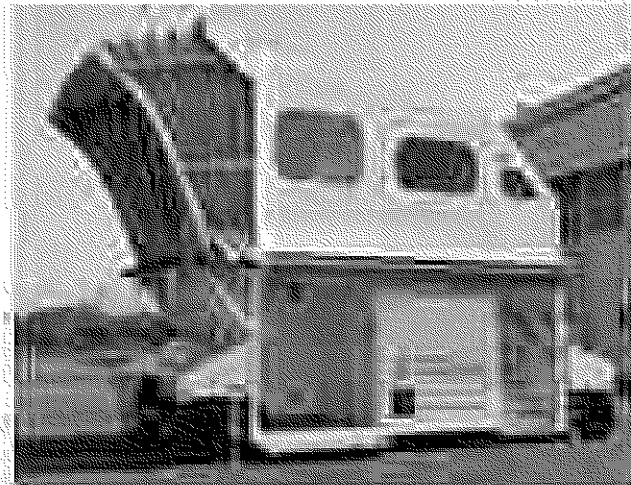
2. バリアフリー対応 最優秀者の技術

○最優秀者の実績

▮ 船舶内で実績のある昇降設備

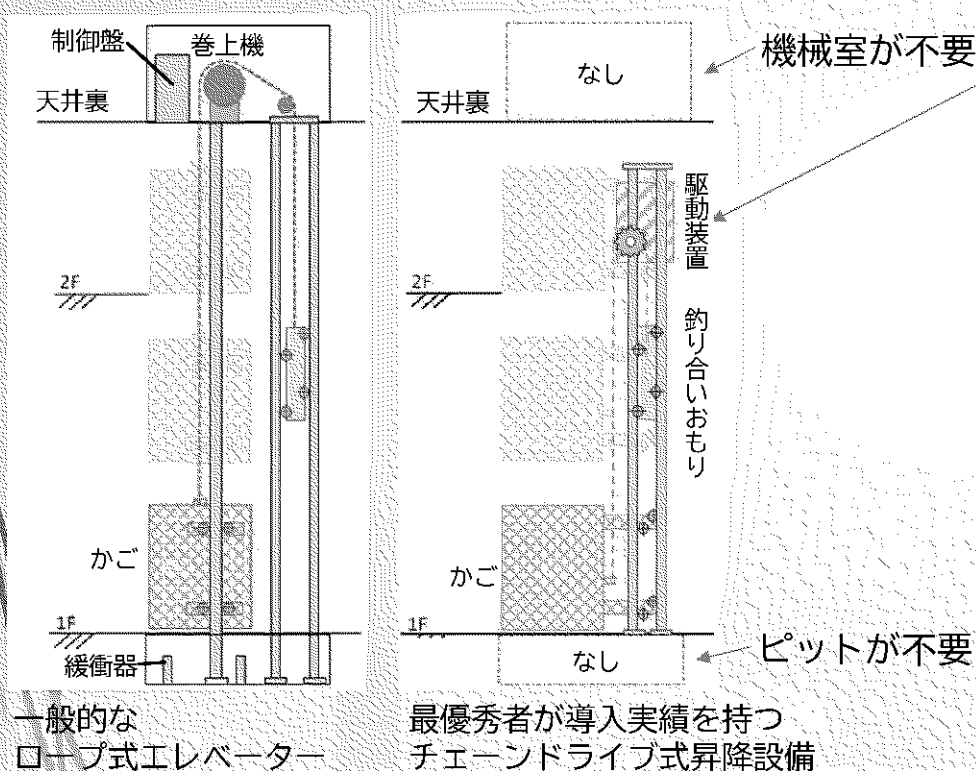


▮ 航空機搭乗機材



2. バリアフリー対応 最優秀者の技術

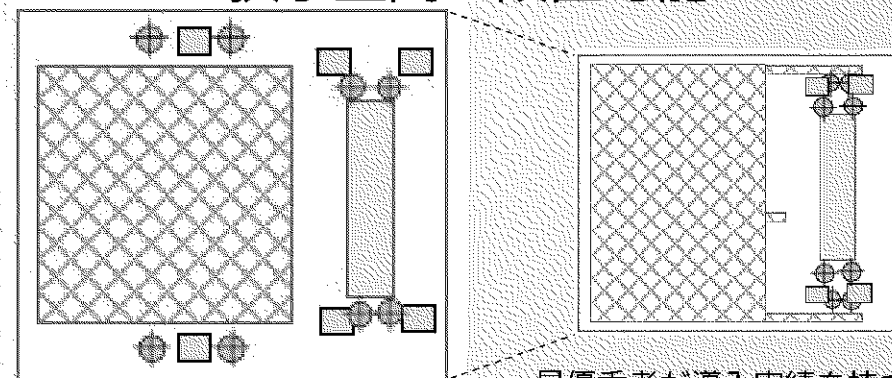
○一般的なエレベーターとの違い



断面図

上からロープで吊るのではなく釣り合いおもり、駆動装置等とまとめて片側支持

狭小空間に設置可能



一般的なロープ式エレベーター

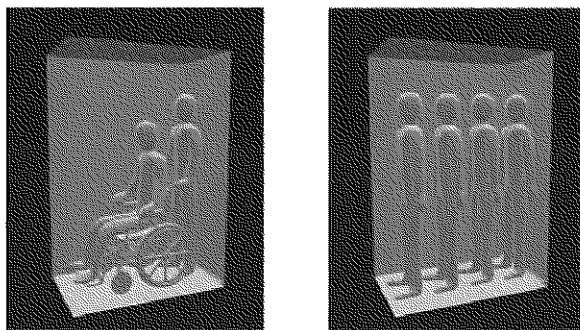
最優秀者が導入実績を持つチェーンドライブ式昇降設備

平面図

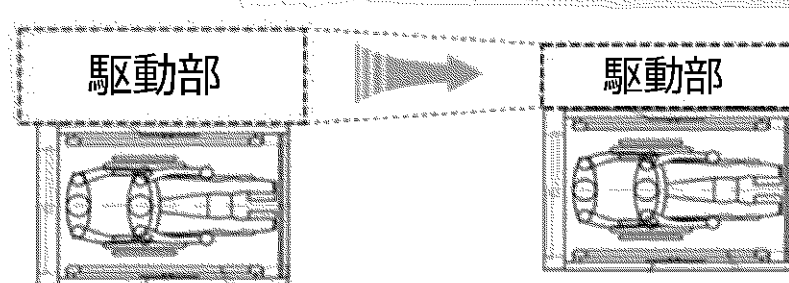
2. バリアフリー対応 最優秀者の技術

○最優秀者の提案技術の概要

- ・ 定員4名または車いす利用者1名と介助者1名が搭乗可能
- ・ 木造の柱・梁を取り除かずに設置できるよう小型化
- ・ 取り外すことで、史実に忠実な状態に戻すことが可能



搭乗イメージ



小型化のイメージ

2. バリアフリー対応

昇降技術を入れたらどんなイメージ？



昇降技術 なし

2. バリアフリー対応

昇降技術を入れたらどんなイメージ？



昇降技術 あり
周囲との違いを明確にした場合

2. バリアフリー対応

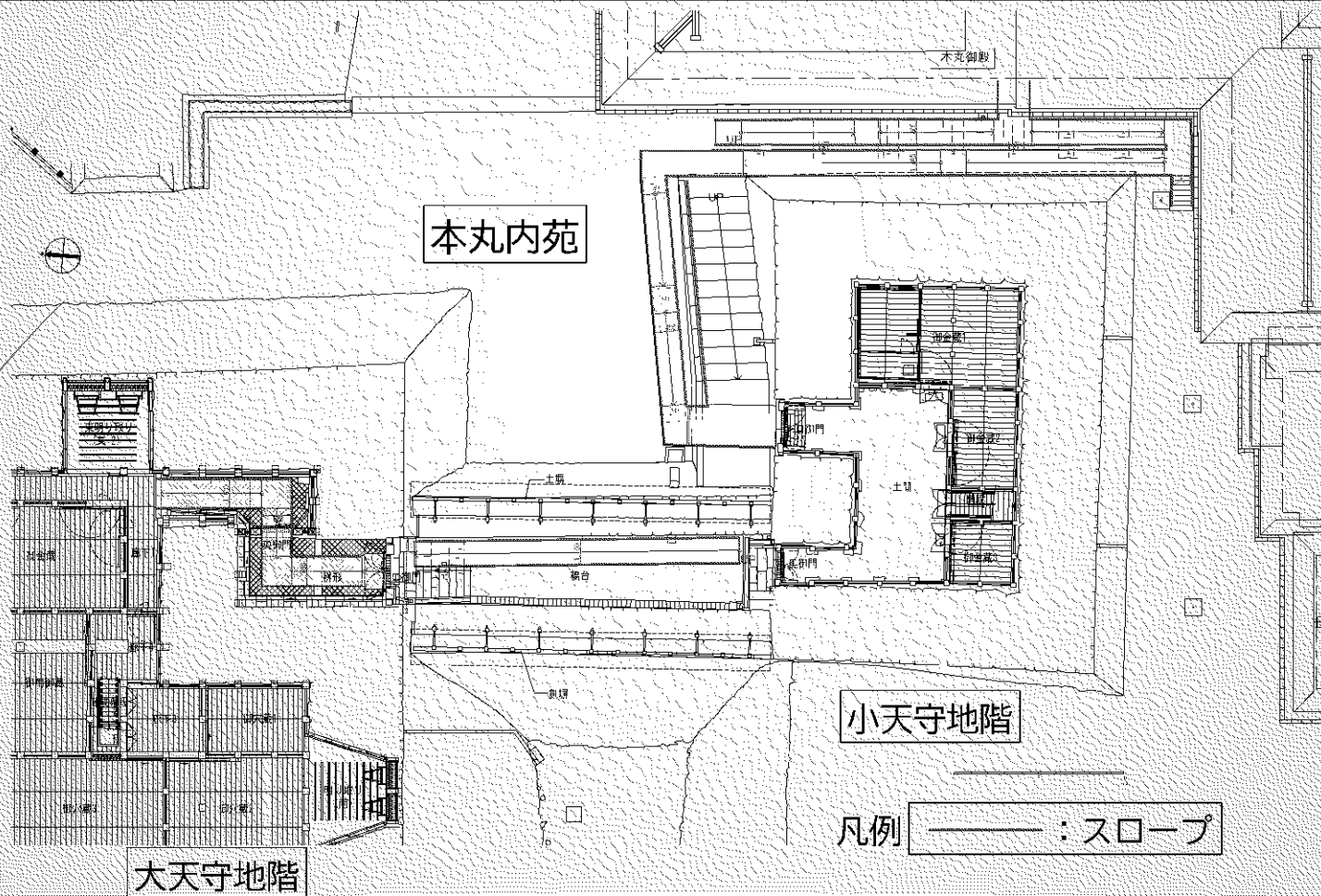
昇降技術を入れたらどんなイメージ？



昇降技術 あり
周囲と溶け込ませた場合

2. バリアフリー対応

地上から大天守地階までのバリアフリー対応



3. 木造天守復元の進捗状況と今後の予定

令和4年度

解体と復元を一体とした
『木造天守整備基本計画』の
取りまとめ

- ・遺構を保護
- ・木造天守を復元
- ・公開・活用

令和5年度以降

市民アンケート調査

市民討論会

整備基本計画を文化庁へ

復元検討委員会

許可申請手続き

復元工事に着手

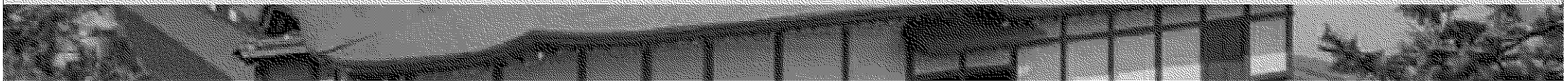
現天守閣
解体工事

木造天守
復元工事

木造天守 完成・公開



ご清聴ありがとうございました



名古屋城バリアフリーに関するアンケート（速報）

1 概要

（１）調査の趣旨

名古屋城は、先人たちの努力により豊富な史資料が残されており、焼失前の天守を忠実に復元することが可能な全国唯一の大規模城郭建築であり、調査研究に基づく「史実に忠実な復元」に最大限配慮しながら、バリアフリーに対応するため、昨年度に「名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募」を実施し、最優秀者を決定したところである。

今回のアンケートは、復元する木造天守への昇降技術の設置について市民の意見を把握し、名古屋市の方針を決める基礎資料とするために市民アンケートを実施した。

（２）調査方法

ア 調査対象

18 歳以上の名古屋市に居住する 5,000 人（外国人含む）

イ 抽出方法

住民基本台帳上から層化無作為抽出（各区の人口等に応じて比例配分して抽出）を実施。

ウ 調査方法

郵送による配布・回収。アンケートを郵送する際には以下のものを同封した。

- ・アンケートお願い文
- ・アンケート調査票
- ・名古屋城バリアフリーに関する説明資料
- ・市民討論会に参加される方へ（案内文と参加申込書）

エ 調査時期

令和 5 年 4 月 19 日（水）～ 5 月 8 日（月）

オ 配布・回収数

区 分	標本配布数	標本回収数	標本回収率
件数	5, 0 0 0 人	1, 4 4 8	2 9. 0 %

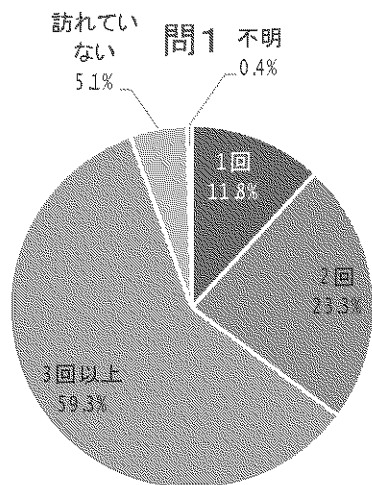
2 集計結果

(1) 単純集計

問1 過去に、何回名古屋城を訪れましたか？

「3回以上」が59.3%を占める。

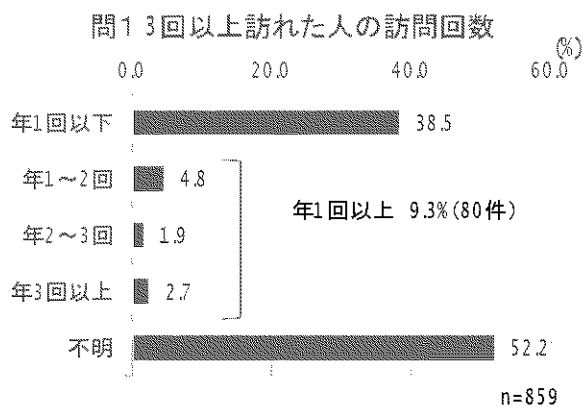
「3回以上」訪れたことがある人の訪問回数は、「年1回以下」または「不明」が大半で、年1回以上訪れている人は80件。



n=1,448

	件数	%
1 回	171	11.8
2 回	338	23.3
3 回以上	859	59.3
訪れていない	74	5.1
不明	6	0.4
合計	1,448	100.0

3回以上訪れた人の訪問回数

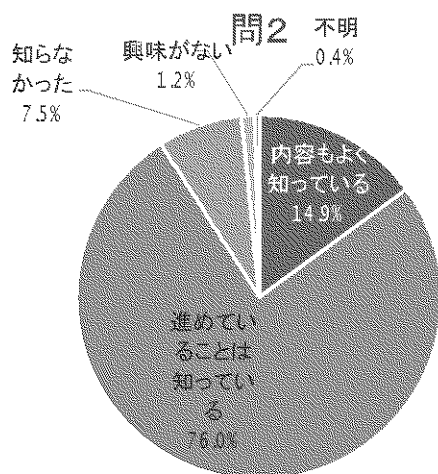


n=859

	件数	%
年1回以下	331	38.5
年1～2回	41	4.8
年2～3回	16	1.9
年3回以上	23	2.7
不明	448	52.2
合計	859	100.0

問2 天守についてお聞きします。名古屋市が天守の木造復元を進めていることをご存じですか？

「進めていることは知っている」が 76.0%と大半を占める。

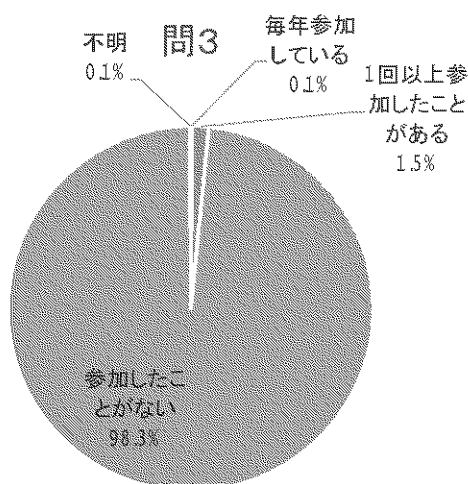


n=1,448

	件数	%
内容もよく知っている	216	14.9
進めていることは知っている	1,100	76.0
知らなかった	109	7.5
興味がない	17	1.2
不明	6	0.4
合計	1,448	100.0

問3 今まで、名古屋市が主催した名古屋城天守閣整備に関するタウンミーティングや市民説明会にご参加いただいたことがありますか？

「参加したことがない」が 98.3% ほとんどの人が名古屋城に関する資料を手にする初めての機会となった。

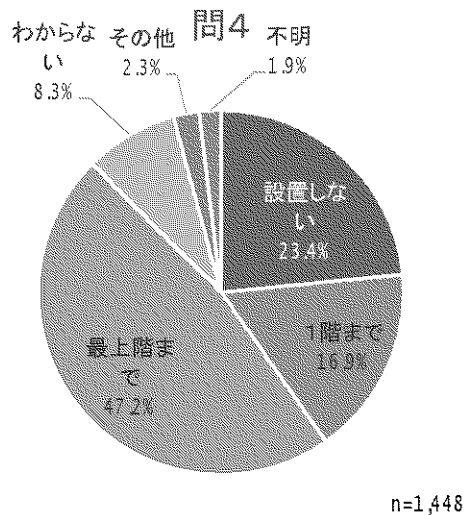


n=1,448

	件数	%
毎年参加している	2	0.1
1回以上参加したことがある	21	1.5
参加したことがない	1,424	98.3
不明	1	0.1
合計	1,448	100.0

問4 公募により選定された最優秀者の昇降技術の設置について、あなたの考え方は以下のうちどれですか。

「設置しない」 23.4% 「1階まで」 16.9% 「最上階まで」 47.2%の順。



	件数	%
設置しない	339	23.4
1階まで	244	16.9
最上階まで	684	47.2
わからない	120	8.3
その他	33	2.3
不明	28	1.9
合計	1,448	100.0

問5 問4のご回答にかかわらず、最上階（5階）までのバリアフリーとして、他にどのような方法を望まれますか。（自由回答）

<問4で「1 設置しない」または「2 1階まで」を選んだ方の回答例>

- ・当時の図面があるのだから歴史的な建造物はその通り再現するのが普通では？
- ・極力、史実にあった復元をして欲しい
- ・不便なことも含めて当時の城を再現すべき。階段の昇降などで通常の建物の中を移動できる工夫をする。
- ・人力で補助・介助する、ロボットの活用、パワースーツやキャタピラのついた車いすなどもあるかもしれない。
- ・VR技術を利用して、上層階の状況を1階で見られるようにする。

<問4で「3 最上階まで」を選んだ方の回答例>

- ・エレベーター（外来者が簡単に一気に最上階に行けた方が良い）
- ・専門家+若い方たちの目を通して、歴史を生かした新しい発想を生かしてバリアフリーについて考えていただきたい
- ・バリアフリーのレベルをもっと向上させるべきで、忠実な復元という目的に対してバリアフリーだけが対立軸になっていることに異和感がある。
- ・名古屋城を史実に基づき忠実に再現する事は大賛成。名古屋城をバリアフリーにすると、少しでも高齢者とその家族の外出のハードルが下がる。
- ・VR（ゴーグル）もあり。

問6 現在の園路等を含む名古屋城全体のバリアフリーについて、ご意見をお聞かせください。(自由回答)

<問4で「1 設置しない」または「2 1階まで」を選んだ方の回答例>

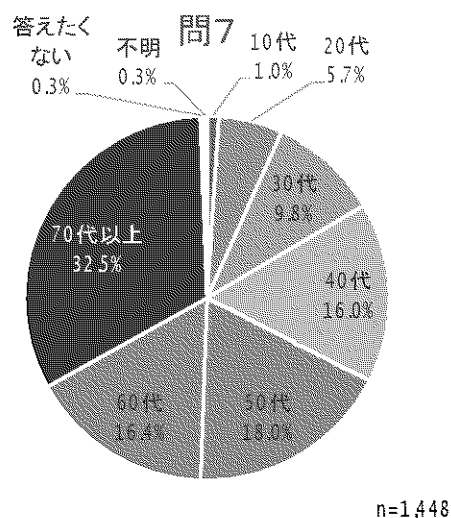
- ・そもそも資料に基づいて忠実に木造復元をするプロジェクトだったと思う。
- ・将来の歴史好きのためにできる限り史実に忠実に復元をして欲しい。もし完成時に自分が最上階まで行けなくてもあきらめがつく。
- ・歴史的建造物を復元する事とバリアフリーは別に考える必要が有ると思う
- ・城であるがゆえに、当時の姿を忠実に再現することを優先し、その上でできることを考えたい。脇道にスロープを作る等。
- ・城外路（園路）なら車イス等の通れる舗装路は良いかも。

<問4で「3 最上階まで」を選んだ方の回答例>

- ・バリアフリーありきではなく、木造での復元ありきのバリアフリーを考えているので、史資料に基づく立派な名古屋城の完成を期待。
- ・江戸時代から残るものについては、可能な限り保存することを原則としつつ、障害の有無や年齢、性別、国籍等を問わず、すべての人が歴史遺産に触れ学べるよう、バリアフリー環境整備を整えていくべき。
- ・高齢者、障害者の方々の介助のお手伝いの方がいると安心して外出できる。
- ・バリアフリーエリアとそうでないエリアを同じ空間に設置できたら。神社でよく見かける真中は砂利で両脇はコンクリートなどの良例を情報収集すべき。
- ・結局新築であることには変わらないからバリアフリーはどんどん進めるべきだと思う。

問7 あなたの年代をお答えください。

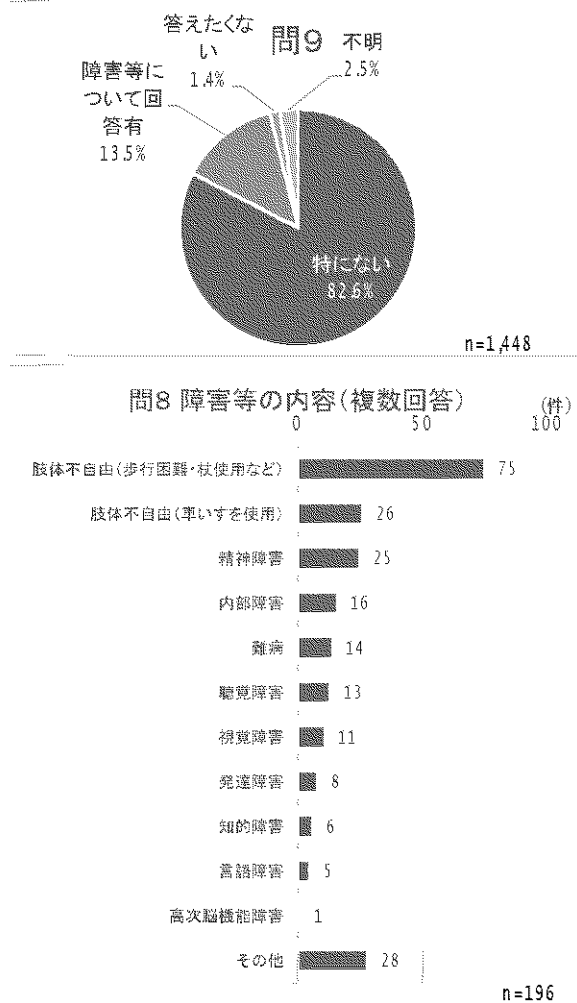
「20代以下」 6.7% 「30代」 9.8% 「40代」 16.0% 「50代」 18.0%
「60代」 16.4% 「70代以上」 32.5%



	件数	%
10 代	15	1.0
20 代	82	5.7
30 代	142	9.8
40 代	232	16.0
50 代	261	18.0
60 代	237	16.4
70 代以上	470	32.5
答えたくない	4	0.3
不明	5	0.3
合計	1,448	100.0

問8 差し支えなければ、障害等の有無についてお答えください。（複数回答）

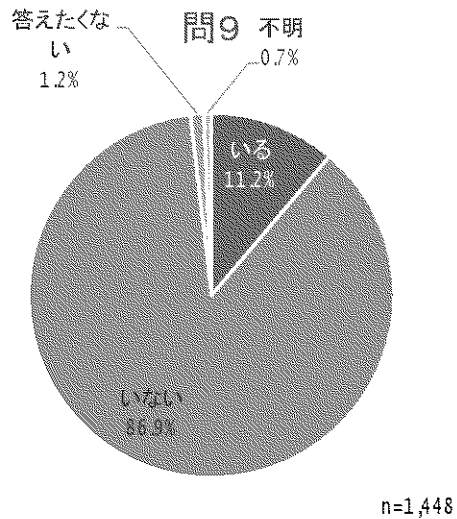
「特にない」が 82.6% 障害等について回答した方が 13.5%
 障害等の種類については、「肢体不自由（歩行困難・杖使用など）」75件
 （5.2%）、「肢体不自由（車いすを使用）」26件（1.8%）、「精神障害」25件（1.7%）
 の順に多い。



	件数	%
特にない	1,196	82.6
障害等について回答有	196	13.5
肢体不自由(歩行困難・杖使用など)	75	5.2
肢体不自由(車いすを使用)	26	1.8
精神障害	25	1.7
内部障害	16	1.1
難病	14	1.0
聴覚障害	13	0.9
視覚障害	11	0.8
発達障害	8	0.6
知的障害	6	0.4
言語障害	5	0.3
高次脳機能障害	1	0.1
その他	28	1.9
答えたくない	20	1.4
不明	36	2.5
合計	1,448	100.0

問9 ご家族に就学前のお子様はいらっしゃいますか。

「いる」という回答は 11.2%。



	件数	%
いる	162	11.2
いない	1,259	86.9
答えたくない	17	1.2
不明	10	0.7
サンプル数(%ベース)	1,448	100.0

市民討論会への参加希望

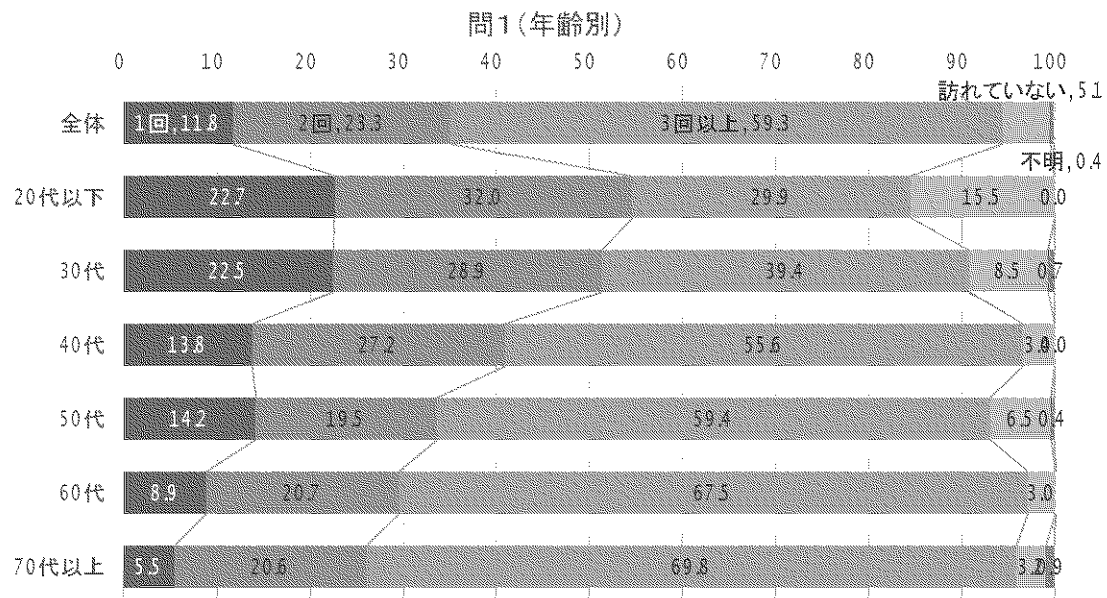
市民討論会への参加申込は 59 件
(4.1%) あった。

	件数	%
申込件数	59	4.1

(2) クロス集計 (主なもの)

問1 過去に、何回名古屋城を訪れましたか？ (年齢別)

年齢が高くなる程「3回以上」の比率が高くなる。



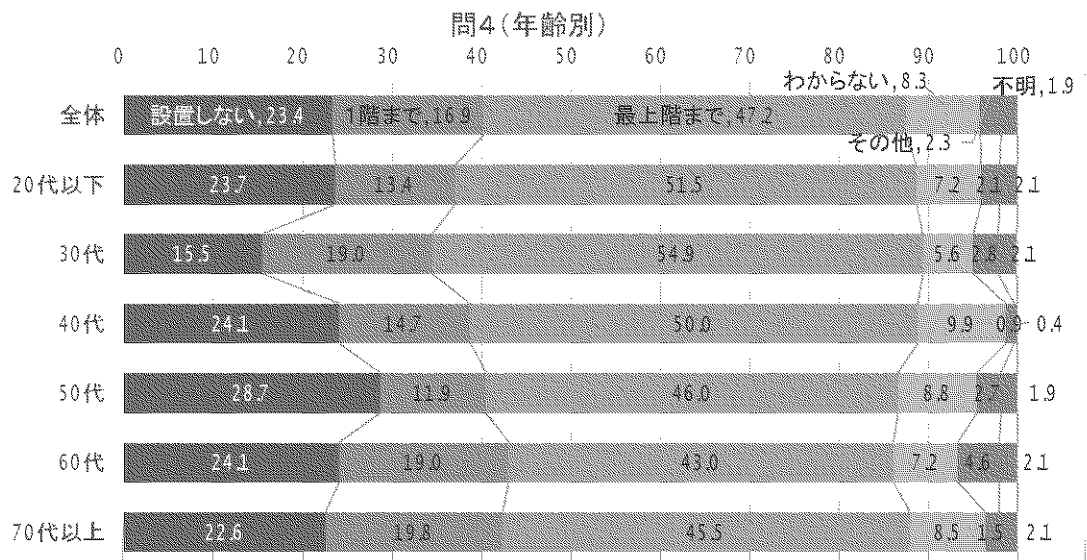
上段: 件数、下段: %

	1回	2回	3回以上	訪れていない	不明	合計
20代	22	31	29	15	0	97
	22.7	32.0	29.9	15.5	-	100.0
30代	32	41	56	12	1	142
	22.5	28.9	39.4	8.5	0.7	100.0
40代	32	63	129	8	-	232
	13.8	27.2	55.6	3.4	-	100.0
50代	37	51	155	17	1	261
	14.2	19.5	59.4	6.5	0.4	100.0
60代	21	49	160	7	-	237
	8.9	20.7	67.5	3.0	-	100.0
70代以上	26	97	328	15	4	470
	5.5	20.6	69.8	3.2	0.9	100.0
合計	171	338	859	74	6	1,448
	11.8	23.3	59.3	5.1	0.4	100.0

問4 公募により選定された最優秀者の昇降技術の設置について、あなたの考え方は以下のうちどれですか。(年齢別)

40代以下では「最上階まで」の比率が高いが50代以上で低くなる。

60代では「設置しない」「1階まで」の合計43.1%、「最上階まで」43.0%と同程度となっている。



上段:件数、下段:%

	設置しない	1階まで	最上階まで	わからない	その他	不明	合計
20代以下	23	13	50	7	2	2	97
	23.7	13.4	51.5	7.2	2.1	2.1	100.0
30代	22	27	78	8	4	3	142
	15.5	19.0	54.9	5.6	2.8	2.1	100.0
40代	56	34	116	23	2	1	232
	24.1	14.7	50.0	9.9	0.9	0.4	100.0
50代	75	31	120	23	7	5	261
	28.7	11.9	46.0	8.8	2.7	1.9	100.0
60代	57	45	102	17	11	5	237
	24.1	19.0	43.0	7.2	4.6	2.1	100.0
70代以上	106	93	214	40	7	10	470
	22.6	19.8	45.5	8.5	1.5	2.1	100.0
合計	339	244	684	120	33	28	1,448
	23.4	16.9	47.2	8.3	2.3	1.9	100.0

問４ 公募により選定された最優秀者の昇降技術の設置について、あなたの考え方は以下のうちどれですか。

<障害有りの方、肢体不自由の方>

障害等について回答有の方は「最上階まで」の比率が高く、中でも肢体不自由の方の比率が高い。

	設置しない	1階まで	最上階まで	わからない	その他	不明	合計
特になし	286 23.9	204 17.1	554 46.3	101 8.4	28 2.3	23 1.9	1,196 100.0
障害等について回答有	38 19.4	33 16.8	106 54.1	13 6.6	3 1.5	3 1.5	196 100.0
肢体不自由 (歩行困難・杖使用など)	11 14.7	10 13.3	45 60.0	7 9.3	0 0.0	2 2.7	75 100.0
肢体不自由 (車いすを使用)	6 23.1	3 11.5	15 57.7	1 3.8	1 3.8	0 0.0	26 100.0

<小さい子どもがいる人>

小さい子どもがいる人の方が「最上階まで」の比率が高いものの、障害等について回答した人よりは比率は低い。

	設置しない	1階まで	最上階まで	わからない	その他	不明	合計
いる	35 21.6	30 18.5	81 50.0	9 5.6	4 2.5	3 1.9	162 100.0
いない	299 23.7	210 16.7	588 46.7	111 8.8	28 2.2	23 1.8	1,259 100.0

<名古屋城への訪問回数別>

「3回以上」の人は「設置しない」「1階まで」の比率が高い。

「2回」の人は「最上階まで」の比率が高い。

「1回」「訪れていない」人は「2回」の人より「最上階まで」の比率が低い

一方、「わからない」の比率が高くなり、訪問回数が少ないとバリアフリーについて判断しにくい人も一定数いると考えられる。

	設置 しない	1 階 ま で	最 上 階 ま で	わ か ら な い	そ の 他	不 明	合 計
1 回	42 24.6	27 15.8	78 45.6	19 11.1	1 0.6	4 2.3	171 100.0
2 回	65 19.2	50 14.8	181 53.6	31 9.2	7 2.1	4 1.2	338 100.0
3 回以上	216 25.1	156 18.2	388 45.2	56 6.5	24 2.8	19 2.2	859 100.0
訪れていない	13 17.6	11 14.9	34 45.9	14 18.9	1 1.4	1 1.4	74 100.0

	設置しない	1階まで	最上階まで	わからない	その他	不明
全体	23.4	16.9	47.2	8.3	2.3	1.9
20 代以下	23.7	13.4	51.5	7.2	2.1	2.1

自由意見まとめ（討論会参加者）

問5 問4のご回答にかかわらず、最上階（5階）までのバリアフリーとして、他にどのような方法を望まれますか。

<問4で「1 設置しない」「2 1階まで」を選んだ方の回答>

問4	問5. 問4のご回答にかかわらず、最上階(5階)までのバリアフリーとして、他にどのような方法を望まれますか。
1	史実に忠実に再現できる貴重な資料が残って言う貴重な城郭なのでしょう？ なぜ史実と違うバリアフリーを作る必要があるのでしょうか。
1	せっかく当時の図面があるのだから歴史的な建造物はその通り再現するのが普通では？
1	全ての方に見てもらえる様にするのはEVが必要な事は判るが歴史的建物の復元が出来そうな技術がある様に感じます。であれば現在の知識人、お役所、元請、の協力と歴史の伝える宮大工さん等の職人の育生の為にも役にたつ方法で徹底的に新築してほしいと思います。
1	別に造る必要ない。国宝「姫路城」彦根城や近くは「犬山城」等、往時の城は昇降機など無かった
1	極力、史実にあった復元をして欲しい
1	バリアフリーは不要
2	忠実に復元する為には、昇降器は必要ない 写真やビデオ等で等で設置しておけば良い。
1	不便なことも含めて当時の城を再現すべき。階段の昇降機などで通常の建物の中を移動できる工夫をする。
2	階段で登ることも必要ではないか！
2	特に望みません。
2	まだ若く元気な時に一度名古屋城へ行きました。「ヨイショ！ヨイショ！」と歩いて1人で登りましたが気分は爽快でした。「まだ歩ける！」歩けるうちに少しでも歩いてみたい。
1	「カゴ」を利用して人力でが良い
1	人力で補助、介助する
1	介助者の常備配置
1	階段が広そうに見えるので、剛力みたいな感じで背負って運んでもらえばよいのでは？
2	伝統的な建物を忠実に再現するのであれば 階段の昇降に不自由な方に昇降していただくために人力で逆三角木馬のような台に乗り換えて頂き観覧して頂く
2	広い通路の確保。上階になる程狭くなり、車イスの方は通行しにくいと考えたため。

2	史実に忠実な復元とはならなくなるが、ステップではなく、スロープで次階へ行けるようにする。
2	文化的価値を有するものとして、第一には忠実な復元をし、その上でそれをそこなわない手法で行う。今が完成形でなく、将来の技術の向上により可能になることもありうる。例えば、パワースーツやキャタピラのついた車いすなどもあるかもしれない。
1	ロボットの活用
2	VR 技術を利用して、上層階の状況を1階で見られるようにする。

<問4で「3 最上階までを選んだ方の回答>

問4	問5. 問4のご回答にかかわらず、最上階(5階)までのバリアフリーとして、他にどのような方法を望まれますか。
3	普通にエレベーターつけばいいと思う
3	エレベーター(外来者が簡単に一気に最上階に行けた方がよい)
3	・何度か乗り換えが必要であっても、すべての階を小型エレベーターで上下できるようにする。・「取り外し可能」にこだわる必要はない。
3	電動車いすなどで自走による最上階への移動が可能なスロープ設置
3	動くろうか等
3	専門家+若い方たちの目を通して、歴史を生かした新しい発想を生かしてバリアフリーについて考えていただきたい。
3	他にどのような方法があるのか分かりませんが行動することが不自由な人たちのことをもっと理解していただき意見交換をし、最もベストは方法を見つけ出して欲しいです
3	公募による最低コストでの最高水準の技術
3	・1階から4階は史実に忠実に再現してほしい。・5階では車いすの人が眺望を望めるような工夫をしてほしい。
3	昇降技術を導入するなら主架構を変更したり取り外すことが出来なくても、低コストで安全性の高い技術を優先して欲しい。古い柱や梁などを再利用するならば主架構を変更しないことは重要だと思うが、新築なのだから実寸大模型をどのように見せる(魅せる)かが重要で公開時の内部展示物などや動線とコストとの兼ね合いだと思う
3	バリアフリーのレベルをもっと向上させるべき。「忠実な復元」という目的に対し、バリアフリーだけが対立軸になっていることに異和感がある。素材や製法など、様々なものか「忠実」ではないと思われる時、バリアフリー化だけが、そのレベル感のギロンになることに異和感がある。できそうな範囲での忠実さでよいのならば、もっとバリアフリーのレベルを上げることも可能。

3	現存する名古屋城と同程度以上のエレベーターとし、歩行制約の有無を理由に、同行者(家族や友人等)と、分け隔てられること無く同じルートで同じ眺望を見ることが出来る方法が必要。
3	(一部抜粋)・名古屋城を史実に基づき忠実に再現することには大賛成でございます。・名古屋城をバリアフリーにして頂きますことで、少しでも高齢者とその家族の外出のハードルが下がるように思います。また、例え5階までバリアフリーになりましたも車椅子で廻縁に出ることは、不可能と思われますので、車椅子のお子様などにはVRゴーグルで廻縁からの景色を体験させてあげることが出来ればと存じます。
3	バリアフリーが分かりませんがVRもありかなと。
3	CLTの利用で低コスト1000年持つ躯体構造
3	高齢者はウロウロしがちなので昇降機の前に案内人をおいてほしい
3	特にありません。

<問4で「4 わからない」「5 その他」を選んだ方の回答>

問4	問5. 問4のご回答にかかわらず、最上階(5階)までのバリアフリーとして、他にどのような方法を望まれますか。
4	ない
4	考えつかないけど、あった方が良いでしょう
4	最上階までの昇降は難しそうなのでVRなど新技術で楽しめる方法を検討する
5	城にふさわしいエレベーターを作ってほしい
5	ソフトクリーム型の階段(坂道スロープを)をつける

問6 現在の園路等を含む名古屋城全体のバリアフリーについて、ご意見をお聞かせください。

＜問4で「1 設置しない」「2 1階まで」を選んだ方の回答＞

問4	問6. 現在の園路等を含む名古屋城全体のバリアフリーについて、ご意見をお聞かせください。
1	しかし、高令、障害者等の為の検討(妥協)も多少は必要で、たいへんと思いますが、多少の検討と妥協しかないのではと思います。すべての人の納得は無理なので早急に川村さんの責任で早く終わって下さい。首長はその為の人だと思います。(市長の川村さんには申し訳ないが悪い人になって、早く決めて下さい)
1	そもそも資料に基づいて忠実に木造復元をするプロジェクトだったと思う。エレベーターやバリアフリー化はその趣旨に反するものであり絶対に反対です。一部の団体による圧力に屈するならば、プロジェクトは中止すべき。
1	どうせなら、園路等、名古屋城全体を忠実に復元してほしい。
1	バリアフリーだけでなく、車いすの方のみが入れる特別スペースなどでメリットを感じていただく方法もあると考える。
1	過度なバリアフリーは好ましくないと思います。公園内のバリアフリー化は賛成です
1	確かにバリアフリーは考える必要は有るが、歴史的建造物を復元する事とバリアフリーは別に考える必要が有ると思う エレベーターを設置する事は歴史的建造物には応しくない 都市としてのバリアフリーは必要だが、名古屋城は話が違うと思う
1	現状で十分、これ以上の破壊は必要ない。
1	広い場所なので今のままで良い
1	自分は56歳で今後、車いすなど自由に歩けなくなる可能性もあるけど、歴史好きとしては、将来の歴史好きの為にはできる限り史実に忠実にあった復元をして欲しい。もし完成時に自分が最上階まで行けない状態でもあきらめがつく。
1	城であるがゆえに、当時の姿を忠実に再現することを優先し、その上でできることを考えたい。脇道にスロープを作る等
1	全く不要。天守内は不要。城外路(園路)なら車イス等の通れるホソウ路は良いかも。
2	・バリアフリーと言いますが、年間に何人がバリアフリーが必要か？すべての設備にバリアフリーは必要ない。写真、ビデオで良い。・バリアフリーを設置後の年間の管理費、メンテナンス費用が大変である。・徳川時代の忠実な木造での建替とならない
2	1. 最上階(5階)まで設置されたら年齢や障害のある無しに関わらず便利で安心でゆっくりと楽しめるので良いと思います。その一方で昔の先人の苦勞も経験したいと、知りたかったです。 2. 今現在の名古屋城には行ってないので分からないが昔に比べ外移出しやすくなった。バス、地下鉄利用でも席を譲ってもらう時もあり。障害者が自由に好きな所へ行けるのはありがたいことと思っています。願いを叶える。
2	私自身も周りにも当事者がほぼいないのでそういった目線で見ることがありませんでした。砂利は歩きにくそうだと色々あるのかもしれませんが、過剰な配慮が必要であるとは思いません。

2	史跡としての価値を保ち、その中で実施することが望ましい。いつでも、どこでもというのではなく、時には保全のために健常者も含めて制限しつつ、可能な中でバリアフリーにすることがよいのではないかと。仮設的なバリアフリーでもよいと思う。史跡というところで可能な事とのバランスの中で行うのがよい。
2	私は車イスを利用していないので、障害者の実態はわかりませんが、現状は結構バリアフリーになっているのではないのでしょうか。
2	当時の建城の際に考えられる想定としては、いかに敵に攻め込み難い構造にするかの構想であり、現在においての観光としての城づくりにするならば全く別の考え方になります。国宝として保存しようとするならば史実に忠実にするべきと思いますし、観光ありきの誘致を目的にするのであればエレベーターでも設置し、国宝とか世界遺産的なシンボルとしてはあきらめる事かと思います。
2	特に問題はないと思います。

<問4で「3 最上階までを選んだ方の回答>

問4	問6. 現在の園路等を含む名古屋城全体のバリアフリーについて、ご意見をお聞かせください。
3	バリアフリーはあくまで史実に忠実に復元された名古屋城を誰もが楽しめるようにするためのきっかけだと思います。バリアフリーありきではなく、木造での復元ありきのバリアフリーを考えているので、史資料に基づく立派な名古屋城の完成を期待しています。
3	車いす利用者に名古屋城までの動線を確保するのは、理解出来るが、私個人としては、より史実に基づいて忠実に再現する事が希望です。名古屋城はテーマパークではないはずです。
3	何故「忠実な復元」という基準があるのか？ ・それは資料によれば「再度国宝になる」事と理解。 ・ならば「再度国宝になる」ための「忠実な復元」のレベルをより精査すべきで、その定義達成感の共有か先にあるべきではないか？ ・素材は果たして忠実なのか？ 現代の素材は品質が良すぎて昔ほどの低湿な素材を再現できるのか？ 国宝に戻るための忠実さとしてはバリアフリーよりも他に検討する差分は山程あるのではないかと？
3	江戸時代から残るものについては、可能な限り保存することを原則としつつ、障害の有無や年齢、性別、国籍等を問わず、すべての人が歴史遺産に触れ学べるよう、バリアフリー環境整備を整えていくべき。
3	(一部抜粋) ・例えば高齢者、障害者の方々の介助のお手伝いをして下さる方がいて下さいますと安心して外出できると存じます。一日に何人もと言う訳にはいかないかもしれませんが、例えば介助の必要な方は、事前に予約制にする等の対応策を取って頂ければ人の介助でも、安心して外出出来るかと存じます。 ・(お城について)一つ一つの当時の設計には何かしらの意味が存在すると思います。特に子供たちに本物を見せることは、授業を聞いただけでは絶対にわからない貴重な体験だと思います。そういった経験は必ずや、将来役立つと信じております。

3	じやりは車いすもベビーカーも押しづらい 伏見稲荷のじやりのような工夫が必要
3	園路に市内の老楠の移植 芝など足腰に負担の少ない園路 パーククッション
3	障害者や高齢者でも行動しやすくしてほしい
3	車イス、ベビーカー専用の道をつくってほしいです
3	バリアフリーエリアとそうでないエリアとうまく同じ空間に設置できたら(ex.神社でよく見かける、真中はジャリで両ワキはコンクリート)、その工夫を各地の良い例(情報収集すべき。)を参考の取り入れられたらと思う。高レイ者がどんどん来てくれるような環境にすべき。
3	高齢になりましたので最近では名古屋城には行っていないので詳しくは分かりませんが体の不自由な方達への細心の心配りはされていたはずだと感じていました。今後、更なる高齢社会に向けもっとやさしい社会になるようにと願っています。
3	資料では、どのような昇降技術なのか、小型エレベーターとどう違うのか、屋外から天守内へどうやって出入りするのかがよくわからない。小天守の外側に茶色い通路が描かれているが、これはスロープなのか。かなり狭く、急斜面のものになるのではないかな。
3	当時の姿を再現するのはいいと思うけど、結局新築であることには変わらないからバリアフリーはどんどん進めるべきだと思う。
3	よいと思う
3	介助者の増員
3	限られた費用の中で景観に配慮したバリアフリーになっており、満足している。
3	名古屋に外から来た(他県から)人に名古屋って何がアルの?と聞かれ栄かテレビ塔かお城かなあとアトはどこの県に行っても変わらない物ばかり…。するとせっ角名古屋に来た人も市内見物してもしょうがないとなる…。そこでお城位整備した方がイイと思う。それも最上階まで一気に行って昔の人は何を見ていたのか…と昔の人のヤル事が再現出来た方がいい。例えば織田信長が前後駅の方でナニを考えたダロウと想像できるように?

<問4で「4 わからない」「5 その他」を選んだ方の回答>

問4	問6. 現在の園路等を含む名古屋城全体のバリアフリーについて、ご意見をお聞かせください。
4	浅草のような人力車風の車いすで観光気分を味わいながら園内をまわる(有料) 透水性舗装で車いすや高齢者の歩行にやさしい通路を広げる
5	園路とはどこを示すか、バリアフリーもはっきり解からない
5	今回の提案は1代につき一家族しか乗る事ができず、かなり使用する人が限定されるので特別すぎる気がします 本来フリーは自由でありみんなで使えるのが理想だと考えました。坂道スロープだと、障害あるなしにかかわらず小さな子も少し足の痛いご老人もみんな一緒に楽しめる同じ事ができるのがバリアフリーなのではないでしょうか? 特別な事をくっつけるのはやっぱり違う気がします。

自由回答

問 4	自由意見
1	せっかく再現するのであれば忠実に復元し、国宝を目指してほしい。名古屋の誇りとなるものにしてほしい。
1	どこまでも権利を主張するバカ。それを聴くのがトレンド…とカンチガイするバカ。バカどうし話し合っても決まらない。そもそも論で考えられないのか？そこまで障害者に配慮しなければならないのか？
1	よい史資料があるみたいなので、できるだけ忠実に復元してほしい。
1	愛知県を代表する観光スポットとして 世界に発信できるコンテンツにするべきだと思います
1	一部の障害者、高齢者の圧力によってこのような案が出されたと理解しているが、歴史的建築物の復元と彼らが内部を移動できるようにすることは話の筋が違うと思う。もし空襲がなかったら、元々の城はあるのだから、そこにエレベーターやバリアフリーを設置するなどあり得ないこと。裏面に代替案を記載しました。＜代替案＞駕籠(かご)サービス 江戸時代に普及していた乗り物である駕籠を忠実に製作して、有料のサービスを提供する。(城内の移動、時間制) 障害者や高齢者に対しては、無料あるいは割引価格とする。効果→さらに史実に忠実となり、障害者や高齢者も利用しやすくなる。不公平の是正、ダイバーシティ&インクルージョンの実現につながる。・エレベーター、バリアフリーよりもはるかにコストダウンが図れる。
1	設計図面も存在しているので、復元する事は意味が有ると思う。天守閣に登らずとも城を見る事は出来るし木の臭いもかぐ事が出来ます。天守閣に登らない事が障害者差別になるとは思わない。
1	天守の堀に水が入ると良い 隅櫓の公開の回数を多くする
1	名古屋市の税金を投入するなら、文化財に見合う名古屋を、再建していただきたい？
1	名古屋城⇒堀川⇒宮の渡し 修景美と水運の復活へ 堀川への導水計画の促進(早く)
1	歴史と観光の新ｂる 何が(どんな)城になっても話題になる。名所としても続いていく 関係者の方は大変ですが、早期に完成させてほしい。
2	・世界で一つの徳川時代の建築を史実に忠実に木造で建替ることが一番大切です。・バリアフリーは考える必要はない
2	1. 先月に「おとな旅プレミアム名古屋」という本を買っていました。偶然に参考書となりました。よく読んでから名古屋城を見に行きたいと思っています。 2. 住民の中に3回名古屋城に行ったという友人がいて、色々話を聞いています。皆よく知っているのでおどろきです。ご意見等はまだ申すまで至っていないので省略します。
2	できるだけ往時の姿で復元してほしい。
2	バリアフリー化を名古屋城に限ったものではなく、技術の向上により仮設あるいは可動的なものが作られていけば、姫路城や松本城など他の文化財の構造物へ応用できるものも考えていく中で考えてもよいと思う。今回の対応が完成形である必要はない。

2	私は犬山城や二条城が大好きなので、そして名古屋城の本丸御殿も大好きなので忠実に復元できるのであれば是非そうして頂きたい。例えば私が歩行困難になったとしても、その為に犠牲になるのは逆に悲しいです。
2	私は日本のお城、特に石垣が大好きです。興味を持ち出した頃、名古屋城に遊びに行き、石垣の素晴らしさと重厚さに感動しました。名古屋人で良かった?と心から思います。
2	名古屋城の回りを公園にしたら！
2	木造で、当初の乗田に戻すことが理想です。障害者の気持ちもわかりますが、できればエレベーターなどは設置してほしいです。
3	(問4で3最上階まで)最も重視してほしい。
3	・名古屋市は2018年5月30日「木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針」を発表したが、「5. 基本方針 電動か否かによらず、車いすの方が見ることのできる眺望とし、2は、現状1階フロアまでだが様々な工夫により、可能な限り、上階まで昇ることができるよう目指し、現状よりも天守閣のすばらしさや眺望を楽しめることを保証する。」とは、どのように保証するのか。・史実に忠実に復元し、国宝を目指すのであれば、昇降装置や消火設備、電気設備等設けず、忠実に再現頂き、但し安全確保のため、すべての人が入場できないようにし、外観を見るだけであれば、当然みんな平等となります。
3	愛知県外の人たちに話を聞いてみました。皆、名古屋城を知っていて、上がれるなら高いところまで上がって一望したいとおっしゃられる方がほとんどでした。私も他県のお城だったら、せっかくなら同じ思いになると思いました。日本中の皆にも人気なため、広い視野で考えられていく必要があると思っています。
3	いろいろ考えて下さりありがとうございます。
3	エレベーターはストレッチャーが入るサイズ エレベーターは外付、できれば北側庭園を作る
3	お茶室をもっと活用してほしいです
3	これからも、名古屋城は、愛知県のシンボルとして、観光しやすくしてほしい
3	まごと早く行ける事をまっています
3	今回の様なアンケートや市民討論会の事は初めて知ったので、もう少し若者向けのPR活動があったらいいなと思った。
3	史実に忠実な復元を希望します。
3	史実に忠実に復元した名古屋城を老若男女、障碍の有無を問わず楽しめるようバリアフリーにしていくことはよいことだと思います。
3	地下鉄の駅名が変わり身近になりました。
3	名古屋に行く『コレ』という物を作った方が良い ガーデン阜頭に行くと舟と海が見える アトは前後駅の方に信長と今川が戦った…… 関ヶ原にアルようなコンクリの人形でイクサのやり方、戦ってる様子を再現する公園を作る 是非実現して? 長久手でもどこでも良い。
3	名古屋のシンボルの再建はとても良いと思います。より多勢が楽しめる場になるといいですね。
3	名古屋の誇り 復元してほしい

3	名古屋市民にとって大切な財産です。観光資源として海外のお客様にも幅広く楽しんでいただくためにもグローバルな視点に立ったバリアフリー方策を希望します。
3	名古屋城の歴史を学んだ現在、改めて名古屋城を見尽くしたい。そのためにも、一日も早く復元していただきたい。
3	幼ない頃より名古屋に住んでいるので名古屋城は私にとりましてもシンボリックな存在です。他県から友達が来名した時は必ず連れて行きたい名所です。桜、夏の夜祭、秋の菊の花の鑑賞と、何度となく訪れていますがいつ行っても楽しいです
4	ない
4	名古屋の主要な観光地として、文化遺産として長く残って欲しい
4	夜にイルミネーション ナイトショーなど 伝統文化＋イベント的なみせ方があった方が良い外国人にもっときてほしい。
5	名古屋のシンボルとして長く保たれる事を望む 城のない名古屋は考えられない